

那覇空港構想段階 P I 活動の実施状況

－ 目 次 －

1. 周知・広報・.....	2
(1) 行政広報誌への記事掲載・.....	2
(2) 新聞への記事掲載・.....	8
(3) ポスター掲示・.....	9
(4) ホームページへの情報掲載・.....	10
(5) P I 開始式・.....	17
2. 情報提供・意見収集・.....	18
(1) 構想段階 P I のためのレポートの配布・.....	18
(2) パネル展示・.....	19
(3) オープンハウス・.....	20
(4) シンポジウム・.....	22
(5) 説明会・.....	23
(6) 懇談会・.....	26
3. 【参考 1】 構想段階 P I を紹介する新聞報道・.....	27
4. 【参考 2】 その他構想段階を紹介する新聞報道・.....	43

(1) 行政広報誌への記事掲載

沖縄総合事務局：広報誌「群星（むりぶし）」1月号

[illegible]

那覇空港に関する意見募集中

那覇空港の今後の整備のあり方について、意見を広く募集しています。詳しくは、沖縄総合事務局HP内「那覇空港プロジェクト」をご覧ください。【募集期間】～2月6日(水) 問 沖縄総合事務局那覇空港プロジェクト室 (☎866-1907)

[illegible]

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階PIパンフレットの内容について、皆さまからの意見を広く募集しています。

問い合わせ先 沖縄県総合事務

局開発建設部那覇空港プロジェクト室 ☎ 866・1907

※なお、那覇空港に関するパ
ネル展を1月13日(火)～1
月23日(金)まで、糸満市役所
1階ロビーで開催しますので
お気軽にご覧ください。

出産育児一時金 支給額が38万円へ

国民健康保険に加入している被保険者が、平成2年1月1日以降に出産した場合は、出産育児一時金支給額が一見これまで、35万円から38万円引き上げられました。

これは、産科医療補償制度に創設に伴い、制度に加入している分娩病院が、分娩1時当り13万円の医療費から、分娩費用に加算して、概ね2万円増えたことが主な理由となつてゐる。

そのため、産科医療補償制度に加入している分娩病院で出産した場合は、従来とあり35万円の支給額となつてゐます。

（注）3万円増の医療費割増一分に際しては、重慶の胎児医療費に対する補償制度



市主催による平成21年の成人式典を下記日程で開催いたします。

新成人の皆さんへ、参加ください。

記

日 時 平成21年1月11日（日）
13時30分受付
14時00分開演

式典会場 市立中央公民館 大ホール

対象者 平成18年4月2日～平成元
年4月1日まで生まれた（15歳
達や卒業生、その他の理由で
本市に住民登録のない方
も参加できます。）

献血に行こう！

平成21年
1月1日～2月28日



お問い合せ 国保会課 電話850-0169

★駐車場が混雑するため、お正月朝での会場はご遠慮ください。

お問い合せ 生涯学習部課 電話850-3582

那霸空港建設段階別路線P1

国と県では平成15年度から那覇空港の将来整備のあり方について検討を行ってまいりました。今年度は、複数の選択地から集約選定路の候補の位置、方位、規模等の基本的な条件に關するところの検討地を決定する「備置段階」へと移行しています。『備置段階』における検討内容については、「那覇空港集約選定路」のこのレポートを作成し、下記期間においてPFI（プライベート・インフラメント）を実施します。皆様からいまだ下記のご意見は、選定路の配置等を決定する際の重要な要素となります。『よきよい那覇空港』『県民に役立つ那覇空港』を実現するごため、皆様のご意見を「お寄せください」。

意見募集期間：平成20年12月15日～平成21年2月6日

【説明会の開催について】
日時：平成21年1月21日（水）14:00～15:00 場所：豊見城市立中央公民館（中ホール）

【ご意見・お問い合わせ】

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1
内閣府 沖縄総合事務局 那覇空港プロジェクト室
電話：098-865-1907 FAX：098-861-9916
メール：ma-kuukou@ogb.cao.go.jp
HPアドレス：<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/index.htm>

「那覇空港」をいっしょに
考えましょう。
あなたの声をください。

[illegible]

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階P1パンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。

【お問い合わせ】
沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室
☎ 866-1907

【ホームページ】
<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nabakuukou/index.htm>

後期高齢医療制度保険料のお支払い方法が変わります。

来年度から、「年金か

平成21年4月から、
口座振替による納付（

① 現在、保険料が年金

②平成20年度4月2日
なりますので手続き

口座振替手続きの受付
受付場所：国民健康保

必要書類：被保険者証
受付期間：平成20年1

【注意事項】

【ホームへ

【お問い合わせ】 <http://>

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階P1パンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。

【お問い合わせ】

沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室
☎ 866-1907

[【ホームページ】](#)

<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nabakuukou/index.htm>

[illegible][illegible]

本部町：「広報 もとぶ」1月号

恩納村：「広報 おんな」 1月号

1月1日～2月29日は、「はちまの献血」キャンペーン
広報もとぶ
平成27年1月15日(月) 第238号

ご寄付

ありがとうございます。

本町町955までつくり応援基金へ

＜ご寄附＞		
戸野谷 衣織様	大泉町大東市御新田町 50	2万円
戸野谷 友由紀様	大泉町大東市御新田町 50	2万円
匿名 氏名	川崎県	50万円
八重丘倉会	本家町	15万円

本町東部より

平島剛一氏と知念隆夫氏 県高校PTA功労者賞受賞

12月6日に宮城県において第34回沖根県高等学校PTA研究発表大会(主催:県高等学校PTA協会)が開催され、本町東部の平島剛一氏(厚真町)および知念隆夫氏(四万)が、団体表彰においては本県高等学校PTAから表彰されました。

平島氏は高校PTAに会長として、本校PTAに会長を平成18年度より現在に至るまで、知念氏は本校を平成18年度を平成19年4月まで2年間務め、両氏は本校のPTCA活動に大きく貢献したと認められました。今回の表彰といたしました。そして本校のPTCAを地域を含めた活動団体として評価されました。

平成20年度「福祉の職場説明・面談会(北部地区)」開催

採用予定のある福祉施設・事業所と面接希望する機会を提供し、求人情報の提供、そのほかの福祉に関する情報提供の機会を行います。興味のある方はお気軽に参加下さい。

【開催会場】 平成27年1月21日(木) 受入庁1階・3階
 平成27年1月22日(金) 3階

【開催会場】 名産品交流センターホール

【参加方法】 参加費無料です。当日参加希望に届くください。

お問い合わせ先 名産品交流センター(担当:島崎) TEL.43-142

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の業務環境と住民生活の両立を図る手法(3フレットの資料)について、皆様からの意見をお集めています。

【募集期間】 平成27年1月15日～2月29日

【募集先】 沖縄県庁 那覇県政推進部 企画課

ホームページ
<http://www.pref.okinawa.jp> TEL.(098) 862-2222
kenkyu@nmdn.jp

十人十色就労の個性を大切に育ててほしい 「お仕事へのトラ」就職支援セミナー 就職説明会ワンセリング開催

ひとりで悩まず、専門家のアドバイスが解決への近道です。就労支援センターのアドバイザーがサポートします。

【日 時】 平成27年1月21日(木)午後1時～午後4時
 (就職支援センターは) 那覇市職、個別カウンセリングは15分単位

【場 所】 県庁中央公民館2階201(那覇駅西口)

【対 象】 14歳以上までの求職者

【参 加 料】 無料

お問い合わせ先 就労支援センター 電話098-862-2222

No.331

広報おんな

平成21年1月号

特別労働品の請求期限が過ぎました

特別労働品の引当書・照会を付いた「引当書」であったか、引当書がない状態で引当書が送られてきたか、また特別労働品を請求されていない方が、早急に申請してください。請求書は福祉健康課にあります。資格要件等の質問は下記に電話してください。

連絡先 福祉課 0120-234-0933
(税) 平和企業事業特別基金

**情報通信産業
「フォーラム」＆「合同企業説明会」**

日 時：フォーラム 1月23日(金) 午後1時～4時
合同企業説明会 2月6日(金) 午後1時～4時
会 場：沖縄県民会館 中ホール
対 象：高校・専門学校・新卒生・若手及び一般求職者等
入場料無料
問い合わせ：財団法人県民生活機構 859-6140

くらしの情報

Information on living

那覇空港に関する意見を募集

那覇空港の積極的役割のPR・フレットの内容について、皆様からの意見を広く募集いたします。

【問い合わせ】
沖縄県立空港建設官庁那覇空港プロジェクト室
866-1907
【ホームページ】
[http://www.cd.cdg.go.jp/jp/Yokyu/Information/naha/kuu/](http://www.cd.cdg.go.jp/jp/Yokyu/Information/naha/kuu/ku/)

**NHK学園
平成21年度 入学生・受講者募集**

NHK学園通信制放送大学は、生涯学習の場として全国的に展開しています。まずは無料の体験・期間講習に参加してください。

募集期間 1月10日～1月20日
申し込み 2月10日～2月20日
資料請求 06-6881 (通話料無料)

**エコで楽しむ観光推進を目指すもう一歩
～フォートコンテスト受賞に思う～**

優れた写真のものがかりした作品が、フット・ド・オキナワ20周年記念「フォートコンテスト」の最優秀賞で、北沢親善協会会長賞を受賞しました。

受賞で「人と自然との関係の中に自転車が大切な要素として存在していることが評価された」との講評がありました。

私们的も、沖縄観光の新しいスタイルとして、レンタ

公証事務所 法律相談

会 場：市役所 2階 市民生活課

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階PI(住民参画の手法)パンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。

お問い合わせ

沖縄総合事務局 開発建設部那覇空港プロジェクト室

TEL:(098)866-1907

ホームページ

<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/index.htm>

那覇空港に関する意見を募集

那覇空港の構想段階PIパンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。

【問い合わせ】
沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室
866-1907

【ホームページ】
<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/>

12月30日 シンポジウム広告（琉球新報、沖縄タイムス）

1月15日 構想段階P I意見募集（琉球新報、沖縄タイムス）

8

(3)ポスター掲示

掲示：1,500枚	公共施設	： 302 枚
	各種団体の施設等	： 1,144 枚
	PI会場等	： 54 枚



ポスター(B2版)



チラシ(A4版 左:表面 右:裏面)



シンポジウム チラシ(A4版 左:表面 右:裏面)



県民広場



県庁



那覇市役所

○那覇空港プロジェクト
http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/index.htm

那覇空港プロジェクト

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部
那覇空港プロジェクト室

事務局トップへ

文字サイズをえる **大** **中**

MENU

ホーム

サイトマップ

ご意見・お問い合わせ

関連リンク

これまでの活動

▶ 構想段階

▶ 総合的な調査

那覇空港の概要

▶ 那覇空港の概要

用語解説

▶ 用語解説

Get Adobe Reader

PDF形式の資料をご覧頂くにはAdobe Readerが必要です。お持ちでない方はバーからAdobeウェブサイトでダウンロードして下さい。

那覇空港 構想段階PI

建設段階推進委員会にて

〇世界募集期間 2008.12/15〇2009.2/6〇

TEL:098-866-1927 FAX:098-867-9718 <http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/index.htm>

那覇空港 構想段階PIを開始しました<アンケートにご協力下さい>

那覇空港 構想段階PI 動画配信

Windows Media Player

動画を再生するにはWindows Media Playerが必要です。お持ちでない方は上のロゴをクリックして、Microsoftのサイトからダウンロードして下さい。

下記ファイルをクリックして下さい(Windows Media Playerが起動します)。再生できない場合は、ダウンロード(右クリック)→ファイルを保存して再生して下さい。

⇒[動画]「滑走路増設案の決定に向けて」(11分)(WMV:36MB)

⇒[動画]「滑走路増設案の決定に向けて」詳細版(18分47秒)(WMV:326MB)

レポート (PDF:16MB)

レポート(詳細版) (PDF:33MB)

⇒アンケートにご協力下さい!! (記入はこちらから)

国(内閣府沖縄総合事務局及び国土交通省大阪航空局)と沖縄県では、那覇空港の構想段階の検討にあたり、「那覇空港構想・施設計画検討協議会」を設置し、PIの手法を取り入れ、透明性を確保しつつ幅広い合意形成を図りながら検討を進めています。

このレポートは、滑走路増設案について、施設規模や配置位置、環境影響等について詳細な検討を行った結果をとりまとめたものです。

レポートの内容について皆様からいただくご意見は、滑走路の配置等を決定する際の重要な要素となります。皆様のご意見をお待ちしています。

那覇空港プロジェクト
HP トップ

構想段階 P I に関する
アンケート

アンケートにご記入くださる方、ご自身についてお答え下さい。

住所 市・町・村

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

年齢

職業

那覇空港の将来対応方策に関する調査についてお答え下さい。

那覇空港の将来対応方策に関する調査を実施していることを、いつ知りましたか。

☐ 今回知った ☐ P1ステップ3(昨年) ☐ P1ステップ2(一昨年) ☐ P1ステップ1(三年前) ☐ それ以前から知っていた

これまでのPIでアンケートに回答したことがありますか。

☐ ある(P1ステップ3) ☐ ある(P1ステップ2) ☐ ある(P1ステップ1) ☐ ない

現在、PIを実施していることを何で知りましたか。

☐ 広告(新聞等) ☐ 周囲の人から ☐ 報道(テレビニュース、新聞等) ☐ ポスター

☐ 雑誌(県、市町村広報誌等も含む) ☐ インターネット

☐ PIレポートの入手場所 ☐ その他

報告書の内容について、どの程度ご理解いただけただかお答え下さい。

A 理解できた	B ある程度理解できた	C あまり理解できなかった	D 理解できなかった	A	B	C	D
問1 構想段階は、那覇空港の増設滑走路の概ねの位置・形状を決定する段階であること。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問2 本アンケートは、PIの一環として実施されており、この意見が参考となり、増設滑走路の位置が決定されること。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問3 最新の手法及びデータを用いた需要予測により、施設の必要規模等を検討した内容。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問4 実際の運用及び那覇空港周辺地域の現状を踏まえ空港能力について検討した内容。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問5 総合的な調査で提示した3案を基本としつつ、自然環境、社会環境への影響低減、コスト縮減等の観点から、滑走路増設の最適な配置位置について検討した内容。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問6 那覇空港周辺市等から、那覇島改変への反対、大磯崎にある拝所等への配慮、騒音問題の改善要請について、要望等が出されていること。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問7 那覇島改変が生じる配置案については、地元の合意を得ることが困難として構想段階検討から除いたこと。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問8 那覇空港の特徴を踏まえ、多様な観点から評価項目を検討した内容。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問9 現滑走路と増設滑走路の間隔が異なる2案について比較評価した結果。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

▲Page Top

報告書の内容について、ぜひご意見を聞かせてください。

増設滑走路2案(A案・B案)についてどう思いますか。(400字以内)

<div data-bbox="101 78 242 111" data-label="Section-Header"> <h2>沖縄県HP</h2> </div> <div data-bbox="89 153 705 712" data-label="Complex-Block"> <div>  <h3>交通政策課ホームページ</h3> </div> <div> <p>English is here</p> <p>ようこそ、あなたとは 那覇空港 様目のお言葉です。 2003.7.1以降</p> </div> <div> <h4>交通概要</h4> <p>沖縄県道交運体系基本計画</p> <p>総合交通体系の具体化に向けた取り組み（主要の整備方針）</p> </div> <div> <h4>業務概要</h4> <p>那覇空港</p> </div> <div> <h4>リンク</h4> <ul style="list-style-type: none"> 那覇空港の構想段階PIを開始しました。＜アンケートにご協力ください！＞（平成20年12月15日）（沖縄総合事務局 開発建設部 那覇空港プロジェクト室のサイト） <p>アンケートの実施期間：平成20年12月15日（月）～平成21年2月6日（金）</p> </div> <div> <p>沖縄県 企画部 交通政策課</p> <p>TEL: 098-866-2045 FAX: 098-866-2445</p> </div> <div> <h2>那覇空港の総合的な調査</h2> <p>未来を育むの確立をめざして</p> </div> </div> <div data-bbox="89 629 705 702" data-label="Text"> <p>● 那覇空港の構想段階PIを開始しました。＜アンケートにご協力ください！＞（平成20年12月15日）（沖縄総合事務局 開発建設部 那覇空港プロジェクト室のサイト）</p> <p>アンケートの実施期間：平成20年12月15日（月）～平成21年2月6日（金）</p> </div>	<div data-bbox="732 78 873 111" data-label="Section-Header"> <h2>那覇市HP</h2> </div> <div data-bbox="725 130 1333 673" data-label="Complex-Block"> <div> <p>お知らせ</p> <h3>那覇空港に関するご意見を募集します</h3> <p>国と沖縄県では、那覇空港の今後の整備のあり方について調査、検討を進めております。その調査結果については、広く県民等にご情報提供し、意見の収集を行うパブリック・インボルブメント（P-I）（市民参加）を段階的に進めていきます。</p> <p>これまでの調査結果を踏まえ、那覇空港については、今後具体的な将来対応策の検討を進める必要が示されたことから、今年度2本目の滑走路の整備のあり方について、皆様からのご意見を募集します。</p> </div> <div> <p>詳細は、沖縄県ホームページ内「那覇空港プロジェクト」をご覧ください。</p>  </div> <div> <h4>募集期間</h4> <p>平成20年12月15日（月）～平成21年2月6日（金）</p> </div> <div> <h4>お問合せ先</h4> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄総合事務局開発建設部 那覇空港プロジェクト室 電話：（098）866-1907 那覇市 経営企画室 電話：（098）982-9937 </div> <div> <p>更新日：2008年12月15日</p> </div> </div>
---	---

<div data-bbox="101 1062 271 1096" data-label="Section-Header"> <h2>宜野湾市HP</h2> </div> <div data-bbox="89 1127 682 1645" data-label="Complex-Block"> <div> <p>那覇空港に関する意見募集</p> <h3>宜野湾市</h3> <p>トップページ 行政情報 各課のページ ご意見・ご要望 サイトマップ</p> <p>各課のページ > 企画部 秘書広報課：トップページ > 秘書広報課のページ一覧 > ページタイトル</p> </div> <div> <h4>那覇空港に関する意見募集</h4> <p>那覇空港の構想段階PIパンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。</p> <p>詳しくは、こちらをクリック→ 那覇空港プロジェクトホームページ（沖縄総合事務局）</p> </div> <div> <p>お問い合わせ先：沖縄総合事務局 開発建設部 那覇空港プロジェクト室</p> <p>電話：098-866-1907</p> </div> <div> <p>お問い合わせ：企画部 秘書広報課 TEL：098-893-4411（代表） 庁舎内マップ</p> <p>市政広報係（別館2階） 内線：424</p> <p>平和交流係（別館2階） 内線：402、423</p> <p>秘書係（本館2階） 内線：200、201</p> </div> </div>	<div data-bbox="732 1062 873 1096" data-label="Section-Header"> <h2>浦添市HP</h2> </div> <div data-bbox="725 1127 1333 1531" data-label="Complex-Block"> <div> <p>那覇空港構想段階PIを開始しました</p> <h3>URASOE-City Web</h3> <p>浦添市安波茶1-1-1 098-876-1234</p> <p>ホーム サイトマップ 戻る</p> </div> <div> <h4>那覇空港構想段階PIを開始しました</h4> <p>＜アンケートにご協力下さい＞</p> <p>国（内閣府沖縄総合事務局及び国土交通省大阪航空局）と沖縄県では、那覇空港の構想段階の検討にあたり、「那覇空港構想・施設計画検討協議会」を設置し、P-Iの手法を取り入れ、透明性を確保しつつ幅広い合意形成を図りながら検討を進めています。</p> <p>レポートの内容について皆様からいただくご意見は、滑走路の配置等を決定する際の重要な要素となります。皆様のご意見をお待ちしています。</p> <p>詳しくはこちらをご覧ください</p> </div> <div> <p>お問い合わせ先： 沖縄県総合事務局 那覇空港プロジェクト室</p> <p>電話番号： 098-866-1907</p> </div> <div> <p>ご意見 ホーム サイトマップ 戻る</p> </div> </div>
---	---

[illegible][illegible]

サイトマップ

トヨコフ
豊見城市のびり食から健康文化と観光・まちづくり

トヨコフ 豊見城市 豊後・教育 豊後・産業 交通安全部 観光・産業 文化スポーツ 観光交流課

検索

[トップページへ](#) | [暮らし・教育・福祉・生活](#)

お問い合わせ

国際空港構想説明会 P1 に意見をお寄せください

国・内閣府沖縄総合事務局及び国交省大分県支庁と沖縄県とは、那覇空港の構想段階の場において、「那覇空港構想・施設計画検討協議会」を設立し、P1（※）の手続きを行い、透明性を確保しつつ幅広い合意形成を図りながら検討を進めています。

諸君ご参加については、施設規模や配置計画、環境影響等について詳細な検討を行なった結果をとりまとめた「那覇空港構想段階P1のためのレポート」を作成し、下記期間においてP1を実施します。

レポートの内容についてご質問がございましたらご意見は、諸君の配置等を決定する際の重要な要素となります。皆様のご意見をお待ちしております。

※① P1（プロパティ・インボリューション）とは、公共事業の計画策定等において、関係地域住民の方の意向に依る情報を得て意見を表明できる場を設け、対話などを通じて得られた意見を計画に反映する取り組みのことです。（出典：国土交通省）

アンケート実施期間：平成20年12月15日（月）～平成21年2月6日（金）
※那覇空港構想段階P1のためのレポートは、市役所1階を配布しています。
（※また、那覇空港、シーワールド、沖縄県立美術館、県内各自治体館においても配布しております。）

様式説明P1開始に伴い、市内で説明会、パネル展示を開催されますので、皆様のご参加お待ちしております。

説明会の開催について
日時：平成21年1月21日（水） 14:00
～15:00
所：豊見城市立中央公民館

パネル展について
日時：平成21年1月6日（火）～1月6日（金）
場所：豊見城市役所1階ロビー

詳しくは → [沖縄県沖縄総合事務局 那覇空港プロジェクト室](#)

このページは[公開情報](#)が所収しています。
〒901-0292 沖縄県豊見城市字船高54番地の1
☎TEL: 098-850-0246 ☎FAX: 098-850-5343
☐ 問い合わせはこちらから

[那覇空港ホームページ「情報いろいろ」那覇空港に関する観光施策](#)

[Deutsch](#)
[English](#)
[サイトマップ](#)



宮古島市

[ホーム](#)
[総合案内](#)
[住民便利帳](#)
[健康と福祉](#)
[文化・スポーツ
イベント情報](#)
[施設案内](#)
[観光案内](#)

[リンク集](#)

情報いろいろ

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階P1パンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集します。

- ◆募集期間
平成20年12月15日（月）～平成21年2月6日（金）
- ◆お問い合わせ先
沖縄総合事務局開発建設部 那覇空港プロジェクト室
電話：(098)866-1907

詳しく是那覇空港プロジェクトホームページをご覧ください。


[●那覇空港プロジェクトホームページ](#)

[↑このページの先頭](#)

Copyright (C) miyakojima city All rights reserved.

南城市HP



The screenshot shows the Nanjo City HP homepage. At the top is the Nanjo City logo and navigation tabs: Home, About Nanjo City, Municipal Information, Information for Residents, and Tourism Information. Below these are links to various municipal services and organizations. A red box highlights the '那覇空港プロジェクト' (Naha Airport Project) link in the left sidebar. Another red box highlights the '那覇空港プロジェクト' link in the main content area.

国頭村HP



The screenshot shows the Kunikida Village HP homepage. At the top is the Kunikida Village logo and navigation tabs: Overview, Organization, Industry, Finance, Education, Welfare, Healthcare, and Links. Below these are links to various village services and organizations. A red box highlights the '那覇空港プロジェクト' (Naha Airport Project) link in the left sidebar. Another red box highlights the '那覇空港プロジェクト' link in the main content area.

大宜味村HP



The screenshot shows the Oyaide Village HP homepage. At the top is the Oyaide Village logo and navigation tabs: Overview, Organization, Industry, Finance, Education, Welfare, Healthcare, and Links. Below these are links to various village services and organizations. A red box highlights the '那覇空港プロジェクト' (Naha Airport Project) link in the left sidebar. Another red box highlights the '那覇空港プロジェクト' link in the main content area.

東村HP



The screenshot shows the Higashi Village HP homepage. At the top is the Higashi Village logo and navigation tabs: Overview, Organization, Industry, Finance, Education, Welfare, Healthcare, and Links. Below these are links to various village services and organizations. A red box highlights the '那覇空港プロジェクト' (Naha Airport Project) link in the left sidebar. Another red box highlights the '那覇空港プロジェクト' link in the main content area.

今帰仁村HP

 **沖縄県 今帰仁村**
OKINAWA VILLAGE NAKIJIN

今帰仁城跡

トップ 新着情報 村の概要 暮らしの手帳 世界遺産 観光情報 イベント情報

[★サイトマップ](#)
 [★サイト内検索](#)

総合案内

- ☆ 村民あしきつ
- ☆ 防災・防犯・緊急連絡
- ☆ 災害に備える
- ☆ 防災マップ
- ☆ 風水害・地震・津波
- ☆ 災害後援提供センター
※要領（活動、物品）
- ☆ 不慮な事故を防ぐ
- ☆ 住民へのお知らせ
- ☆ 広報誌
- ☆ 公民施設
- ☆ 社会運動公園
- ☆ 行事案内
- ☆ 今帰仁村例規集
- ☆ 統計資料
- ☆ ソンク集
- ☆ 今帰仁村議会
- ☆ 各課のご案内
- ☆ 世帯課
- ☆ 住民課
- ☆ 福祉保健課
- ☆ 経済課
- ☆ 農業委員会
- ☆ 建設課

農が織りなすゆがふむら・今帰仁

お知らせ

- ・ボットウランズ製靴キャンペーンについて(サイバーグリーンセンター)
(09.01.26)
- ・南原地区商店街用地処分案内について(09.01.07)
- ・平成25年度今帰仁村体育祭に用紙準備試験の実施について
(09.01.01)
- ・環境美化計画「ソラカキ」の取組について(09.12.26)
- ・環境美化計画「ソラカキ」の実施について(09.12.19)
- 皇親国戚・南原寺の修繕工事について(09.12.16)**
- ・令和1・22年度建設工事費の算出結果報告書申請書の受付について(09.12.15)
- ・今年度1年度村立体育館入居案内について(09.12.01)
- ・村営団地の申込み基準について(09.10.15)
- ・海上揚子川に設置の水利門の公開について(09.09.30)
- ・今年度村人事行務の運営方針の公表について(09.09.29)
- ・今年にわたるおれと空ろの対応について(09.09.24)
- ・今年にわたる集中改革について(09.09.01)

注目情報

- ・広聴部さん！1月～3月の活動について(4.2MHz) 09.04.15
- ・2008・11月号

乙
 ナンパ・ハンガロー の
 お倉屋せせこちらから

とれど

桜まつり

2月8日(日) 場所：今帰仁城跡

観光・イベント

- ☆ 今帰仁村の案内
- ☆ 観光情報
- ☆ 冬に覚悟する1泊2食
- ☆ 今帰仁村の名産
- ☆ 今帰仁にグランデ
- ☆ 旅のイベント情報
- ☆ 今帰仁村11月の企画
- ☆ ウォーキングマップ

世界遺産 今帰仁城跡

Nakijin Castle Remains



今帰仁城跡の歴史と伝説

琉球王国の歴史

世界遺産今帰仁城跡

関連遺産・遺品

よみがえらせる今帰仁城

今帰仁関連施設

・那覇空港に関する意見の募集について(08.12.15)

本部町HP

太陽と海と緑－観光文化のまち



new 新着情報 new		
掲載日	タイトル	備考
2009年1月16日	【企画商工観光課】八重岳桜の開花状況	
2009年1月15日	【総務課】本部町物品購入入札参加資格申請について	
2009年1月9日	【総務課】離職者緊急雇用対策について	
2009年1月8日	【町税対策課】住宅ローン控除を申告する皆様へ	
2009年1月8日	【企画商工観光課】第31回本部八重岳桜まつりのお知らせ	平成21年1月17日～2月18日
2009年1月6日	【企画商工観光課】広報6と238号(1月)出上市がりました	
2009年12月19日	【企画商工観光課】平成21年度本部町入札参加資格審査申請案内	平成21年2月27日まで
2009年12月16日	【那覇空港に関する意見募集(那覇空港権限の拡大)】	平成21年2月6日まで
2009年12月6日	【福祉課】平成21年度保育所(園)入所見込集票	案件・平成21年1月28日まで
2009年11月21日	【総務課】平成21年度本部町職員採用候補者試験のお知らせ	
2009年11月7日	【総務課】平成21年本部町成人式のお知らせ	
2009年10月28日	【総務課】ご協力ください	
2009年10月10日	【総務課】お定見情報について	
2009年9月30日	【総務課】全免除除上償還の裏書について	
2009年9月22日	【総務課】おとり割利制補助金スタート	
2009年9月17日	【総務課】請求方法について	
		バックナンバー

2008年12月16日 那覇空港に関する意見募集(那覇空港構想段階PD)

恩納村HP

The screenshot shows the official website of Onna Village. The header has a logo and a scenic banner. The main menu includes 'Home', 'About Onna Village', 'What to see in Onna Village', 'English', 'Site Map', 'Contact Us', and 'Language'. The main content area is organized into several columns: 'New & Events' with a list of local events, 'Photo Log' with a photo of a lake and the text '富田町付近の海津', 'Disaster Information' with a red banner for '100th Anniversary' and 'Disaster Information', 'Main Events' with a list of upcoming events, and 'Look at it by category' with a list of various services. A sidebar on the right contains '100th Anniversary' information and a 'Disaster Information' section. The footer includes contact information for Onna Village and a copyright notice.

那覇空港
プロジェクト

宜野座村HP

[illegible]

◆那覇空港プロジェクトに関するアンケートの実施について

[illegible]

THE WORLD HERITAGE
沖繩県 中城村

ホーム

- 行政情報
- 産業
- 中城の民話
- 伝統文化
- まじろ
- 中城城跡
- 文化財
- 自然環境
- 観光案内
- 観光企画
- 地図
- 村民の顔
- 広報なかぐさく
- 中城村計画資料
- アクセス
- 掲示板
- リンク

ご意見 ご要望 ご質問 はこちら

世界遺産

ようこそ世界遺産の村・中城村へ

中城村は、昔から豊かな土地と景観の地で、古くは貝塚時代約3,000年前の人の生活がうかがえていて、知られていて、現存する時代の中城城跡は、護国寺や中城城などの歴史、人々の物語が登場し、支えられています。

とも中城 吉の浦のお月
 お月が輝かなくて
 さびやねえよ

世に名高い中城村の吉の浦を眺めると月が美しく、何となく、何となく、どこか、とても静かな、とてもあたたかな、と歌われている。



中城村役場

〒901-2493
 沖縄県中城村字当間17番地
 電話 098-895-2131 (代表)
 FAX 098-895-3048 (代表)

◇ **新着情報**

新着 集成改革プラン取組状況を更新しました。(経済課 1/22)

新着 平成21年度中城村入札参加者申請書受理及び提出表現様式(建設・建築・土木関係)を決定しました。(庶務課 1/16)

新着 中城村緊急雇用対策事業に係る職員の募集について(都市建設課 1/13)

広報なかぐさく第154号を掲載しました。(企画課 1/7)

中城小学校北上校分設22年「金城珠球」が最優秀賞を受賞。(1/6)

**中城村教育委員会
 (中城村幼稚園内)**

〒901-2407
 沖縄県中城村字安里190番地

教員連絡課
 電話 098-895-0276
 FAX 098-895-0353

生涯学習課
 電話 098-895-3707
 FAX 098-895-6353

中城村民生教育課
 電話 098-895-3707
 FAX 098-895-6353

吉の浦会館
 電話 098-895-6994
 FAX 098-895-6994

◇ **くらの情報**

ナカグサ中城村・さるる広瀬寄付(ふさふさ納税)のお知らせ(企画課)

健康カレンダー(福祉課保護課)

職員採用に関するお話し合わせ(総務課)

ごみ分別及び収集日のポスター(住民生活課)

村民役のしくみについて(税務課)

幼児児童生徒の安全確保にご協力を。(教育総務課)

児童生徒健康手帳の返却について(協力会)

教育委員・野村博、陸・陸技場・吉の浦会館の施設予約(生涯学習課)

後期高齢者医療制度医療費の算定方法を掲載しました。(福祉課保護課)

中城村議会事務局

〒901-2493
 沖縄県中城村字当間17番地
 電話 098-895-4318
 FAX 098-895-4358

◇ **その他情報**

中城村創規集(平成20年5月20日現在)

「広報なかぐさく」への有料広告掲載の募集について(企画課)



那覇空港プロジェクト



那覇空港プロジェクト

那覇のグスク及び周辺遺跡(中城城跡)
 中城城跡 中城城跡 中城城跡

> ホーム

ごさるなへ

世界遺産 中城城跡
 the world heritage - Nakagusuku Castle

[illegible]

与那原町HP



与那原町HPのスクリーンショット。トップページには「マリンタウン東港 町長挨拶」と「与那原町の紹介」があり、特産品として「与那原の紅芋」が紹介されている。また、「マリンタウン東港」の紹介があり、マリンタウン東港の概要、マリンタウン東港の概要、マリンタウン東港の概要が紹介されている。また、「マリンタウン東港」の紹介があり、マリンタウン東港の概要、マリンタウン東港の概要、マリンタウン東港の概要が紹介されている。

那覇空港に関する意見募集(リンク)

南風原町HP



南風原町HPのスクリーンショット。トップページには「南風原町 町長挨拶」と「南風原町の紹介」があり、特産品として「南風原の紅芋」が紹介されている。また、「南風原町」の紹介があり、南風原町の概要、南風原町の概要、南風原町の概要が紹介されている。また、「南風原町」の紹介があり、南風原町の概要、南風原町の概要、南風原町の概要が紹介されている。

那覇空港プロジェクト
那覇空港プロジェクト

座間味村HP



座間味村HPのスクリーンショット。トップページには「座間味村 町長挨拶」と「座間味村の紹介」があり、特産品として「座間味の紅芋」が紹介されている。また、「座間味村」の紹介があり、座間味村の概要、座間味村の概要、座間味村の概要が紹介されている。また、「座間味村」の紹介があり、座間味村の概要、座間味村の概要、座間味村の概要が紹介されている。

12月15日 那覇空港構想段階PI(パブリック・インボルブメント) 意見募集開始

竹富町HP



竹富町HPのスクリーンショット。トップページには「竹富町 町長挨拶」と「竹富町の紹介」があり、特産品として「竹富の紅芋」が紹介されている。また、「竹富町」の紹介があり、竹富町の概要、竹富町の概要、竹富町の概要が紹介されている。また、「竹富町」の紹介があり、竹富町の概要、竹富町の概要、竹富町の概要が紹介されている。

那覇空港
那覇空港プロジェクト

(5)PI開始式

日 時：平成20年12月15日(月)	場 所：県民広場（県庁前）
参加者：（沖縄総合事務局）森田次長、吉永開発建設部長 （沖縄県）仲里副知事、上原企画部長 （那覇空港事務所）菅野空港長 （那覇市）上地企画財務部副部長 （豊見城市）座安企画部長 ミス沖縄2名 他	



構想段階P I の開始にあたり挨拶



P I 開始式の様子



チラシ配布の様子



チラシ配布の様子

2. 情報提供・意見収集

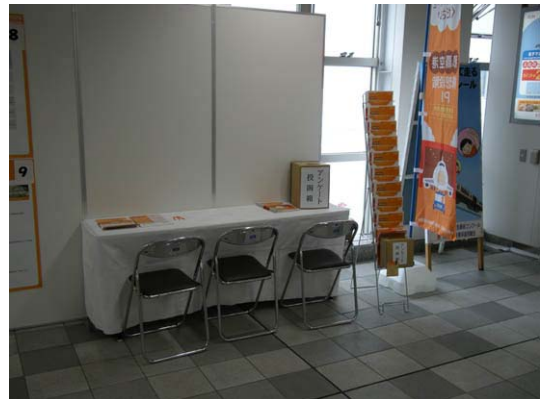
(1) 構想段階PIのためのレポートの配布



那覇空港2階ゲートラウンジでの設置



ローソン泉崎店での設置



モノレール県庁前駅での設置



モノレール儀保駅での設置



モノレール牧志駅での設置

(2)パネル展示

	場所	期間
1	那覇空港（3階北側ギャラリー）	1/5～2/6（33日間）
2	沖縄総合事務局	12/22～2/6（28日間）
3	モノレール県庁前駅	1/4～1/7、1/9～1/18（14日間）
4	モノレール小禄駅	12/22～1/4（14日間）
5	モノレールおもろまち駅	12/22～1/4（14日間）



那覇空港（3階北側ギャラリー）



沖縄総合事務局



モノレール県庁前駅



モノレール小禄駅



モノレールおもろまち駅

(3)オープンハウス

	場所	期間	参加人数
1	沖縄県庁	1/6～2/6（23日間）	880人
2	石垣市役所	1/19～1/23（5日間）	155人
3	糸満市役所	1/13～1/23（9日間）	367人
4	浦添市役所	1/19～1/23（5日間）	87人
5	うるま市役所	12/22～12/26（5日間）	146人
6	宜野湾市役所	1/19～1/23（5日間）	81人
7	豊見城市役所	1/6～1/16（8日間）	490人
8	名護市役所	2/2～2/6（5日間）	318人
9	那覇市役所	1/19～1/30（10日間）	872人
1 0	南城市役所	1/26～1/30（5日間）	182人
1 1	嘉手納町役場	2/2～2/6（5日間）	128人
1 2	金武町役場	1/13～1/16（4日間）	39人
1 3	北谷町役場	12/22～12/26（5日間）	40人
1 4	西原町役場	1/26～1/30（5日間）	34人
1 5	南風原町役場	2/2～2/6（5日間）	169人
1 6	本部町役場	12/22～12/26（5日間）	172人
1 7	八重瀬町役場	1/26～1/30（5日間）	119人
1 8	与那原町役場	12/22～12/26（5日間）	47人
1 9	那覇空港（ウェルカムホール）	1/5～2/6（33日間）	2,264人
2 0	宮古空港	1/26～1/30（5日間）	256人
2 1	沖縄県男女共同参画センター ているる	1/13～1/16（4日間）	60人
2 2	県立図書館	1/28～2/2（6日間）	296人
2 3	パレット久茂地	1/3,4,13,17（4日間）	278人
2 4	ジャスコ南風原	1/10～1/12（3日間）	171人
2 5	ジャスコ那覇	1/17,18（2日間）	75人
2 6	ジャスコ北谷	1/17,18（2日間）	147人
2 7	ジャスコ名護	1/24,25（2日間）	155人
2 8	ジャスコ具志川	1/31,2/1（2日間）	50人
2 9	プラザハウス	1/10～1/12,17,18（5日間）	65人
3 0	名護さくら祭り	1/31,2/1（2日間）	85人



沖縄県庁



那覇市役所



那覇空港(ウェルカムホール)



宮古空港



パレット久茂地



ジャスコ那覇



プラザハウス



名護さくら祭り

(4)シンポジウム

<p>題目：那覇空港構想段階PIシンポジウム 沖縄の未来へ、テイクオフ！ 那覇空港の2本目の滑走路増設に向けて</p>	<p>場所：パレット市民劇場</p>
<p>日時：平成21年1月8日(木)15:00～ 17:00</p>	<p>参加人数：197人</p>



沖縄県副知事挨拶



沖縄総合事務局長挨拶



第1部 基調講演「ペルー・日本・沖縄 ～ウチナンチュの一人として～」講師：アルベルト城間



構想段階PIの説明



第2部 公開討議（パネルディスカッション）



会場の風景



パネルディスカッションの様子

(5)説明会

場 所：おきでんふれあいホール	対象：一般県民（那覇地区）
開催日：平成21年1月14日（水）	参加人数：43人



場 所：沖縄市民会館	対象：一般県民（中部地区）
開催日：平成21年1月15日（木）	参加人数：43人





場 所：沖縄県庁	対象：一般県民（南部地区）
開催日：平成21年1月20日（火）	参加人数：112人



場 所：糸満市農村環境改善センター	対象：一般県民（糸満地区）
開催日：平成21年1月20日（火）	参加人数：55人
 	

場 所：豊見城市立中央公民館	対象：一般県民（豊見城地区）
開催日：平成21年1月21日（水）	参加人数：59人
 	

場 所：浦添市産業振興センター・結の街	対象：一般県民（南部地区）
開催日：平成21年1月29日（木）	参加人数：33人
 	

場 所：名護市労働福祉センター	対象：一般県民（北部地区）
開催日：平成21年1月30日（金）	参加人数：44人
<div data-bbox="138 259 665 656" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="756 259 1285 656" data-label="Image"> </div>	

(6)懇談会

	対象	回数	参加人数
1	地域住民	10回	350人
2	空港・航空関係者	4回	122人
3	経済団体等	13回	384人
4	大学	1回	22人



地域住民



空港・航空関係者



大学



経済団体等

3. 【参考 1】構想段階 P I を紹介する新聞報道

日付	新聞紙名		見出し
平成20年 12月9日（火）	琉球新報	夕刊1面	1310m・850m沖合2案に PI実施、年度内決定
	沖縄タイムス	夕刊1面	滑走路増1310・850m案に 15日から住民意見収集
12月10日（水）	琉球新報	朝刊2面	県「1310m」に自信
	沖縄タイムス	朝刊2面	増設2案で意見収集 構想評価委PI内容了承
12月12日（金）	琉球新報	朝刊2面	「自衛隊機沖合側に」県、3市が意見交換
12月16日（火）	琉球新報	朝刊2面	滑走路で積極意見を PI募集始まる
	沖縄タイムス	朝刊2面	那覇空港滑走路2案のPI開始
12月17日（水）	沖縄建設新聞	1面	那覇空港構想段階P I 2案で意見募集
12月18日（木）	琉球新報	朝刊2面	県負担は100億円想定
12月20日（土）	琉球新報	夕刊4面	本年度にPI集約
	沖縄タイムス	夕刊5面	滑走路増設を推進 那覇空港年度内に位置決定
12月22日（月）	港湾空港 タイムス	3面	構想段階P I 実施中 沖合2案で意見募集に
12月25日（木）	琉球新報	朝刊2面	那覇空港新滑走路「1310mで」 地元3市が共同声明
	沖縄タイムス	朝刊1面	3市長、1310m沖合案支持 騒音軽減を要望
	沖縄タイムス	夕刊1面	「1310m超」求め決議 拡張促進連が臨時総会
12月31日（水）	沖縄タイムス	朝刊2面	増設2案に絞り込む
平成21年 1月7日（水）	沖縄タイムス	朝刊7面	経済界がステッカー
1月9日（金）	琉球新報	朝刊2面	産業振興の基盤に 那覇でシンポ県民議論呼び掛け
	沖縄タイムス	朝刊2面	那覇空港滑走路増設シンポ 交流拠点早期整備を 県民議論の高まりを期待
1月15日（木）	沖縄タイムス	朝刊2面	滑走路増設で説明会を開催
2月4日（水）	沖縄タイムス	朝刊14面	「新滑走路1310m沖に」 美ら島大使香取氏講演
2月5日（木）	琉球新報	朝刊21面	沖合展開で騒音抑制 那覇空港拡張 香取氏講演

1310 メートル 850 メートル 沖合2案に

那覇空港
新滑走路

PI実施、年度内決定

県と沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局でつく
る那覇空港構想・施設計画
検討協議会は九日午前、県

庁で第二回会合を開いた。
那覇空港の新たな滑走路増
設案の候補について、現滑
走路から千三百十メートル沖
合の案の二案に絞り込ん
だ。

絞り込みを受け、二案に
ついて県民の意見を聞く構
想段階PI（パブリックイ
ンボルブメント）を十五日
から来年三月までの日程で
実施。PIの結果を踏ま
え、年度内に増設案を一つ
に決定する。両案ともピー
ク時の最大発着回数是一日
あたり五百九回まで拡大
し、二〇三〇年度までの需
要に対応可能としている。

千三百十メートル案は概算工期
は約七年、事業費は約千九
百億円。当面はターミナル
の展開用地（五十畝）の確
保を見送ったため、大嶺崎
の埋め立ては生じず、瀬長
島の改変もない。地上走行
距離は約三千メートル。
環境面での総合評価では
「サンゴ礁生態系への直接
的影響は大きい。サンゴ着
床促進など実績のある方策
により影響低減の可能性が
ある」と指摘した。

八百五十メートル案は概算工期
が八年、事業費は約二千億
円。瀬長島の改変を回避す
る目的で沖合北側の水深が
深い海域に建設するため、
事業費が高い。地上走行距
離は二千百メートルと短い。

環境面では大嶺崎周辺区
域の埋め立てが生じるほ
か、「海流が閉鎖的となり、
底質変化に伴う大嶺崎南側
の干潟生態系への影響が懸
念される」と指摘した。

協想港空霸那

滑走路増1310・850メートル案に

15日から住民意見収集

那覇空港の滑走路増設計画について、国と県で話し合う那覇空港構想・施設計画検討協議会は九日午前、県庁で第二回の会議を開き、パブリックインボルブメント（ＰＩ、住民意見を吸い上げる仕組み）を実施する滑走路増設案を既存の

三案から二案に絞り込んだ。二案は現滑走路との間隔を沖合に千三百十メートル、八百五十メートル離して建設する計画。今月十五日から約二カ月かけてＰＩを行い、その結果を踏まえ、今年度内に一案に絞り込む方針だ。両案とも一日当たりの発

着回数は五百九回で二〇三〇年度の旅客需要に対応。瀬長島の地形変更への影響はないが、八百五十メートルは大嶺崎の一部に改編を伴う。総事業費は千三百十メートルが約千九百億円（工期約七年）、一部で水深が深い八百五十メートルが約二千億円（同

約八年）。埋め立て面積の広い千三百十メートルがサンゴ消失が比較的大きく、干潟生態系への影響は八百五十メートルが大きいとされる。千三百十メートルは、空域条件が整えば同時離着陸が可能。当初示されていた三案のうち、二百十メートルとする案は、地元か

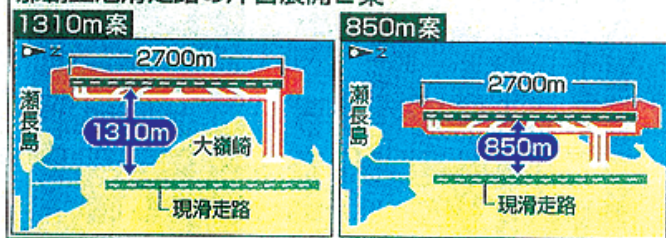
ら「地形変更は容認できない」と反発が強く技術検討から除外された。

新たに提示された八百五十メートル案は滑走路全長の縮小などに伴い、九百三十メートルを修正。瀬長島に影響を与えない最小の間隔で、概算事業費などを抑えた。

県「1310案」に自信

那覇空港滑走路増設

那覇空港滑走路の沖合展開2案



は、千三百十メートル案が選

の案を承認した。

案を修正する必要があると

案について再度、意見を

最終候補の二案のうち、

滑走路増設案の

PIでは、千三百十と

求める。

「軍民共用」火種も

PI（パブリックインボルブメント）を踏

移っている。

「軍民共用」の那覇空港

衛隊との共用がどう展開し

PI、信任投票の様相

PI（パブリックインボルブメント）を踏

移っている。

今回のPIで県民の要望

運用や施設配置の詳細はな

PI（パブリックインボルブメント）を実施する
那覇空港滑走路増設案の主な比較

項目	増設A（1310㍍）案	増設B（850㍍）案
特徴	・2030年度までの航空需要に対応 ・事業費は安価。工期は短い ・地上走行距離が長い ・瀬長島・大嶺崎の地形変更なし ・サンゴ礁生態系などに影響大きい ・空域条件次第で同時離着陸が可能	・2030年度までの航空需要に対応 ・深い地点があり、事業費は高価。工期は長い ・地上走行距離が短い ・瀬長島への影響なし。大嶺崎の一部に改変 ・砂地干潟生態系への影響大きい
1日当たり発着回数	509回	509回
概算事業費	約1900億円	約2000億円
概算工期	約7年	約8年
埋め立て面積	約150㍍	約130㍍
地上走行距離 （滑走路～ターミナル）	約3000㍍	約2100㍍

※「特徴」で記した表現（安価、高価など）は、両案を比較したもの

那覇空港

増設2案で意見収集

構想評価委PI内容了承

那覇空港の滑走路増設計画について、住民意見を吸い上げるパブリックインボルブメント（PI）の在り

方を検討する那覇空港構想段階PI評価委員会（委員長・上間清琉球大名誉教授）が九日、那覇市の沖縄総合事務局で開かれた。現滑走路から沖合側に千三百十㍍、八百五十㍍離す増設案を比較するための「PIレポート案」の内容や表現方法をチェック。おおむね当初案通り了承した。

PIの実施期間は、今月十五日から来年二月六日までの約二カ月間。増設二案の位置、事業費や工期、整備に伴う経済効果、埋め立て海域や地形への影響などの情報を示し、アンケートなどで意見を求める。対象者は県民、空港利用者、団体や企業など。

委員からは専門的な表現

の修正を求める指摘のほか、アンケートで両案の賛否について選択する項目がないことに疑問が出た。事務局側は「二案は代表的な案として提示するもので、幅広く意見を募るため」と、記入式とした理由を説明した。

PIの実施主体で、国と県でつくる那覇空港構想・施設計画検討協議会は同日午前、PIを実施する対象として、既存の増設三案から二百十㍍案を削除し、二案に絞り込んだ。

「自衛隊機沖合側に」
県、3市が意見交換
那覇空港の地域連絡会議
那覇空港の沖合展開につ
いて、県と那覇、豊見城、
糸満の周辺3市が意見交換
する那覇空港構想段階地域
連絡会議の第二回会合が十

一日、県庁で開かれた。
県は、二本目の滑走路の
建設位置の候補が、千三百
十と八百五十の二案に
絞り込まれた経緯について
説明。増設案を決定するた
めの構想段階PI（パブリッ
ク・インボルブメント）が

十五日から始まることを受
け、説明会や意見募集への
参加を住民に呼び掛けるよ
う広報の協力を求めた。
意見交換では、騒音がた
き自衛隊機は沖合側の新
滑走路に運用を固定化でき
ないかといった課題が指摘
された。豊見城市の座安正
勝企画部長は「騒音の発生
源は沖合に展開した方がい
い。八百五十の案では緩和
の効果があまりないのでは
ないか。この機会に騒音の
環境基準を大胆にクリアし
てほしい」と強調した。

那覇空港滑走路増設案の構想段階PIの
チラシを配り県民の参加を呼び掛ける仲
里全輝副知事ら＝15日、県民広場



滑走路で積極意見を PI募集始まる

那覇空港拡張 PI募集始まる

沖縄総合事務局や県、大工では、千三百十と八百
五十の増設二案の比較評
議案は十五日午後、那覇空港滑
走路増設案の決定に向けた
県民の意見を募る構想段階
PI（パブリック・インボ
ルブメント）を開始した。P

募るほかアンケートやはが
きでも意見を回収する。同
期間中は、説明会などを開
き、周知を図る予定。
寄せられた意見は、有識
者でつくる那覇空港構想設
計PI評価委員会（委員長
・上間清琉球大名誉教授）
の第三回会合でとりまと
め、評価する。
この日のPI開始に先立
ち、県民広場で開始式があ
り、仲里全輝副知事が「那覇
空港は今後の沖縄にとって空
港要なもので積極的な県民の
意見をお願いします」とあ
いさつ。副知事は開始式
後、ミス沖縄と街頭でチ
ラシを配布し、県民の参加
を呼び掛けた。

那覇空港滑走路 2案のPI開始

来月6日まで

大阪航空局、沖縄総合事
務局、県の三者でつくる那

那覇空港構想・施設計画検討
協議会は十五日、同空港の
滑走路増設案（現滑走路と
の間隔が八百五十と、千三
百十の二案）について、
住民意見を吸い上げるパブ
リックインボルブメント

（PI）を始めた。来年二
月六日までの約八週間。
同日夕、那覇市の県民広
場で開始式を開催。関係者
数十人が国際通りなどに
出て、両案の比較項目が記さ
れたPIレポート、チラ
シ、アンケートなどを配布
した。増設案の選定に影響
を与えるPIへの協力を呼
び掛けた。

設計画検討協議会・第2回
第2回那覇空港構想
那覇空港構想・施設設計画検討協議会
那覇空港構想段階PⅠ評価委員会

那覇空港構想段階PⅠ 1310m 850m 2案で意見募集

那覇空港構想・施設設計画検討協議会
那覇空港構想段階PⅠ評価委員会

那覇空港構想段階PⅠ評価委員会が9日、開かれた。午前中に県庁で開かれた検討協議会では、二つの滑走路の沖合い展開について、210メートル案を含めた3案から、1310メートル案、850メートル案の2案に絞り込まれた。850メートル案は、930メートル案の改良案。構想段階で、滑走路長を想定される最大規模の3000メートルから現在那覇空港を利用、まだ就航を予定している機材の離着陸に必要な長さである700メートルに変更するなど滑走路

長等前提条件に変更が生じたことにより、那覇空港技術検討委員会が改めて滑走路幅が狭いという最小の滑走路幅について検討を行う必要があるとの意見が出されたことから検討を行った。850メートル配置案が作成された。1310メートル案（増設A案）は工期が約7年で、850メートル案（増設B



第2回那覇空港構想段階PⅠ評価委員会
(沖縄総合事務局)

案の約8年に比べ短い。事業費は増設A案は約1900億円、増設B案は約2000億円。増設B案では、滑走路の一部が水深の深いところに配置されるため、高価になっており、また大嶺崎周辺区域の改変が生じる。同日午後、沖縄総合事務局で開かれた那覇空港構想段階PⅠ評価委員会。委員長・上間清琉球大学名誉教授では、那覇空港構想段階に関するPⅠ（プリリク・インボルブメント）実施計画を承認した。計画に住民意見を反映させるため行われるPⅠでは、2案について、県民や空港利用者などから意見を募集する。募集期間は平成20年12月15日から平成21年2月6日までの約8週間。増設案の内容をまとめたリポート配布や沖縄総合事務局那覇空港プロジェクト室のホームページ等で情報を提供している。

那覇空港滑走路増設

県負担は100億円想定

県議会特別委

県議会十一月例会は十七日、米軍基地関係（渡嘉敷喜代子委員長、観光振興・新石垣空港建設促進（比嘉京子委員長）など三特別委員会を開いた。沖縄振興・那覇空港整備促進特別委（当路勝雄委員長）で、原良幸企画部長は那覇空港の滑走路増設費用の県負担は、概算事業費の5%にあたる百億円程度の想定を説明した。その上で、二〇一一年度で期限が切れる沖縄振興特別措置法に基づく特別措置が適用されない場合は、負担額は七百億円程度に膨らむと指摘した。

沖縄・那覇空港

沖縄振興・那覇空港整備促進特別委は、那覇空港の滑走路増設案決定に向けた構想段階PⅠ（ハブリック・インボルブメント）などについて質疑を行った。国はPⅠの中で滑走路増設案の概算事業費を千九百億一千億円と示している。沖縄振興特別措置法の期限内に早めに事業をスタートさせようと急いでいると述べた。渡嘉敷委員長（共産）への答弁。の形のまま継続されるかどうかは別として、空港建設計画については今の補助率を維持する仕組みが必要だ。そのために、沖縄振興の期限内に早めに事業をスタートさせようと急いでいると述べた。渡嘉敷委員長（共産）への答弁。

県負担は百億円程度になる。ただ沖縄法の特別措置が失効した場合は、空港整備法に基づく負担割合が適用され、県は事業費の三分の一を負担する必要がある。上原部長は「沖縄振興法が今

本年度にP・I集約

貨物地区の移転・拡充も



那覇空港の滑走路増設に

ついては、二〇〇八年度から構想・施設計画段階での検討を開始しており、〇九年度も引き続き検討を進める。「那覇空港構想・施設計画検討協議会」の検討を

踏まえ現在、滑走路増設案について県民の意見を募る構想段階P・I（パブリック・インボルブメント）を実施している。〇八年度内に結果を取りまとめる予定。現在の空港施設を有効活用する方策として、貨物ターミナル地区の移転・拡充なども促進する。

同空港の年間離着陸回数
は十二万回を超え、滑走路

一本の空港では国内第二位の多さとなっている。年間乗降客数は約千四百九十万人で、国内第七位。

〇七年に本工事に着手した新石垣空港の整備は二二年度末の利用開始を目指し、事業を推進する。〇八年十一月末現在の用地取得率は約97%。

那覇港と石垣港の大型旅客船ターミナル整備事業も継続で計上した。現在は荷役作業が行われている岸壁に旅客船が接岸しているため、利用者の安全確保などで課題が生じている。整備期間はそれぞれ一一年度までの予定。

一九九一年度開始の平良港トゥリバー地区整備事業は〇九年度で完了する。



滑走路増設に向け、構想・施設計画段階での検討が続く那覇空港

滑走路増設を推進

那覇空港 年度内に位置決定



空港

一五年度ごろにも需要に対応できなくなると予測されている那覇空港は、滑走路増設などの抜本的な空港能力向上方策を推進する。新石垣空港の整備や那覇港・石垣港の大型旅客船ターミナル整備と合わせて二百七十八億五千万円を計上した。内訳は予算編成の中で決定される。

増設する滑走路は、現行の滑走路との距離が①千三百十㊦②九百三十㊦③二百十㊦の三案の中から検討が進んでいたが、国と県で話し合う那覇空港構想・施設計画検討協

の意見を踏まえながら検討する」との姿勢だ。また、現空港施設の有効活用方策として貨物ターミナル地区の移転・拡充も促進する。新石垣空港については引き続き、航空機の大型化に対応するための整備を進める。〇八年十一月末までに用地取得率は約97%に上っており、国は一二年度末の供用開始を予定している。

那覇空港沖展

構想段階P-I実施中

沖合2案で意見募集に

那覇空港構想段階P-I（パブリックインボルブメント）が12月15日から2月6日までの間、実施されている。昨年まで実施してきた那覇空港の総合的調査の

取組みから、今後は具体的な将来対応策について検討が必要との方向に進んだことから、同プランづくりの基本となる構想段階の検討結果の内容を示したものと

なり組みとして、21年度から具体的な施設配置の計画作りに着手し、同年夏には22年度概算要求に向けた概要をまとめることになる。順調に推移し22年度に予算化されると最初は環境アセスメントや基本設計等のための測量・調査などから入り、公有水面埋立など地域と関係機関の合意を踏まえて20

年代半ばからの着工へと進めたいと見通している。



増設案では現清走路から沖合への距離距離1310m案と850m案の2案を示し、その比較を行う提示しており、市民からの意見を求めている。

同P-I終了後はP-Iへの意見や実施結果をまとめ、その内容を那覇空港技術検討委員会に報告して技術検討の有無を判断してもらい、追加検討の必要性がない場合は那覇空港構想段階P-I評価委員会の議を経たうえで構想段階の取組を終了し、施設計画段階へと移行する。

沖縄総合事務局、国土交通省では施設計画段階の取組をまとめることになる。順調に推移し22年度に予算化されると最初は環境アセスメントや基本設計等のための測量・調査などから入り、公有水面埋立など地域と関係機関の合意を踏まえて20

年代半ばからの着工へと進めたいと見通している。

〇〇として検討してきた経緯があるが、滑走路長等前提条件に変更が生じたことから技術検討委員会の意見に基づき、潮見島に改変が生じない最小の滑走路間隔として改めて850mの配置案を示したのもとなつて

〇〇として検討してきた経緯があるが、滑走路長等前提条件に変更が生じたことから技術検討委員会の意見に基づき、潮見島に改変が生じない最小の滑走路間隔として改めて850mの配置案を示したのもとなつて

〇〇として検討してきた経緯があるが、滑走路長等前提条件に変更が生じたことから技術検討委員会の意見に基づき、潮見島に改変が生じない最小の滑走路間隔として改めて850mの配置案を示したのもとなつて

那覇空港新滑走路 「1310メートル」

地元3市が共同声明

翁長雄志那覇市長、上原裕常糸満市長、金城豊明豊見城市長は二十四日、那覇市役所で記者会見を開き、那覇空港の滑走路増設に関して現滑走路から千三百十メートル以上沖合に展開するよう求めるなどの共同声明を発表した。糸満市が滑走路増設に関しての意見を表明するのは初めてで、地元三市の意向が一致した。

三市長は「那覇空港の周辺住民は騒音被害や環境への影響を危惧している」と指摘した上で「新滑走路を千三百十メートル以上沖合へ展開したほうが環境への影響が少なく、市民への理解も得られやすい」と強調した。声明では、県や国に対して①滑走路増設を現滑走路より千三百十メートル以上離す②航空機騒音の軽減に努める③地域住民への十分な説明を行うとともに最大限の情報提供を行う―の三点を求めた。

3市長、1310メートル沖合案支持

那覇空港
新滑走路 騒音軽減を要望

那覇市の翁長雄志市長、糸満市の上原裕常市長、豊見城市の金城豊明市長の三首長が二十四日、那覇市役所で会見し、国などが増設を計画する那覇空港の新滑走路について、現滑走路から千三百十メートル以上沖合に離して建設するよう求めた。

・施設計画検討協議会は、千三百十メートル案と八百五十メートル案の二案を提示し、今月から住民意見を反映させるパブリックインボルブメント（PI）を実施。空港近隣の三市の考えが一致したことは、PIにも一定の影響を与えそうだ。

翁長市長は、県の航空機騒音測定で那覇市具志や豊見城市と根のうるささ指数が環境基準を超えているとし、「できるだけ沖合で建設し、騒音の発生源対策を図ってほしい」と要望。坪所など文化財の残る大嶺崎の地形変更を伴う八百五十メートル案に懸念を示した。

埋め立てによる漁業の影響や騒音被害を不安視する上原市長は「海域への影響が少ない建設案や潮流調査の実施を、PIで求めている」と述べた。金城市長は、豊見城市の瀬長島で温泉宿泊施設の計画があると説明。「同島が米軍から返還された三十年前からの念願」とし、計画に影響を与えかねない八百五十メートル案を容認できない考えを示した。

三市は那覇空港の国際貨物基地構想の実現や観光振興のために新滑走路案が必要との認識で一致。翁長市長は「国などが本年度内に一本化する意向で、空港近隣三市で協力することが重要だ」と強調した。

港空覇那 増設路滑

「1310メートル超」求め決議 拡張促進連が臨時総会

経済界や行政、政党など「促進連盟（会長・知念榮治）五日午前、那覇市内の水テでつくる那覇空港拡張整備一県経営者協会会長」は二十一日で臨時総会を開き、那覇

空港の増設滑走路について現滑走路との間隔を千三百十メートル以上確保し、早期整備するよう求める決議を行った。

滑走路増設については、今月十五日から二案（現滑走路との間隔を千八百五十メートル、千三百十メートル）を対象に、住民意見を募るパブリックインボルブメント（P-I）が行われている。

決議は①現滑走路との間隔を千三百十メートル以上確保し、早期に整備する②漁業などへの影響も十分配慮する③ことの二項目を要望。今後、国への要請行動を展開するという。

千三百十メートル案が八百五十メートルより工期が短く事業費も安価とされている点を挙げ「運用面や利便性の向上も最大限図ることができると指摘。

観光客一千万人の実現や国際物流関連産業の展開、那覇市や豊見城市、糸満市から騒音低減や地形維持の観点から同案を推す意見が出されている」としている。

増設2案に絞り込む

□那覇空港

那覇空港の滑走路増設計画で、国と県でつくる施設

計画検討協議会は十二月、住民意見を吸い上げるパブリックインボルブメント（P-I）を実施する増設案として、現滑走路との間隔を千三百十メートル、八百五十メートルとする二案に絞り込んだ。来年度一二月までの約二カ月のP-Iを経て、同三月までに一案へ絞り込む。両案とも一日当たりの発着回数は二〇三〇年度の旅客需要に対応。P-I実施を受け、近隣の三市や経済界は航空機騒音軽減、将来展開の可能性などから千三百十メートル案を推す考えを表明した。

経済界がステッカー

同時離着陸可能 騒音改善
那覇第2滑走路は1310m 増設に!

支持訴え

那覇空港の第2滑走路建設に向け行われている意見聴取（パブリック・インボルブメントⅡPⅡ）で、同時離着陸が可能で1310m以上の滑走路への支持を広く、沖縄経済同友会などからステッカー11万枚、3000枚を作製、5日から配布を始めた。同友会のほか沖縄観光の未来を考える会が費用

を分担、経済団体の主催する会合などで配布している。同時離着陸のほか騒音対策としても1310mの支持を呼びかける内容だ。

5日の沖縄観光新春の集いでは、来賓の仲井真弘多知事が長さ約30mのステッカーをはちまきのように頭に巻き、参加者に「皆さんもアヒールを」と呼びかける一幕もあった。

港増設
空路
那覇滑

産業振興の基盤に

那覇でシンポジウム 県民議論呼び掛け

那覇空港の滑走路増設案の決定に向けた「那覇空港構想段階PⅡシンポジウム」（主催・那覇空港構想・施設計画検討協議会）が8日、那覇市のパレット市民劇場で開かれた。パネル

討論では、全日本空輸による国際貨物事業など、アジアに近しい沖縄は国際交流の拠点となる可能性が大きい。と各氏が一致。産業振興や県民生活を支える重要な基盤として、那覇空港の

那覇空港の将来の在り方を議論したシンポジウム＝8日、那覇市のパレット市民劇場



在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。パネル討論では、轟朝幸氏（日本大学教授）、刈辺美紀氏（沖縄経済同友会副代表）が最大になる可能性が出てくる。世界的には航空機運航がキーワードになっ

表幹事）、安里繁信氏（日本青年会議所会頭）、アルベルト城間氏（歌手）が意見を述べ、森地茂氏（政策研究大学院大学教授）がコーディネーターを務めた。轟氏は「千三百十の間の隔があれば、将来的には滑走路を同時に使え、処理能力が最大になる可能性が出てくる。世界的には航空機運航がキーワードになっ

た。刈辺氏は「人口が激増するアジアでは大旅行時代が起くる。人の流れを受け入れる余地がないとチャンス逃す。空港建設は五十年先、百年先を見据えないといけない」と強調した。安里氏は「空港振張、全日空の貨物事業など、沖縄には地の利だけでなく、天の利もきている。このタイミングを逃さないという機運の高まりを期待したい」と述べた。城間氏は「国際線ルートが増え、那覇ハワイリマという路線ができるという。世界のウチナーンチュが多い南米がもっと身近になるチャンスだ」と述べた。

那覇空港滑走路増設シンポ

交流拠点早期整備を

県民論議の高まり期待



那覇空港の滑走路増設について考えるシンポジウムが八日、那覇市のパレット市民劇場で開かれた。「沖縄の将来像と那覇空港のあるべき姿」と題したパネルディスカッションでは、学識経験者や経済界の代表ら五氏が発言。全日空（ANA）が進める貨物基地構想など、那覇空港がアジアとの交流拠点となる可能性に期待感が示され、新滑走路の早期整備が必要との認識で一致。滑走路の位置選定についても、県民論議を深める必要性が強調された。

国と県でつくる那覇空港一百五十坪、千三百十坪離し構想・施設計画検討協議会が主催。同協議会のパブリックインホルフメント（住民意見の吸い上げ、PI）では現滑走路との間隔を八

今後の那覇空港の在り方について意見を交わすパネリストら八日午後、那覇市・パレット市民劇場

日本大学理工学部の轟朝幸教授は、機材の小型化などによって離着陸回数が増える「多頻度運航」の方向性を紹介。「両案とも航空需要は満たしており、地元への理解や環境への配慮が求められる」と県民論議の高まりに期待した。

日本青年会議所の安里繁信会頭は「海で囲まれた沖縄にとって空港は生命線。ANAの構想や滑走路増設は沖縄の自立への絶好のタイミングだ」と強調。沖縄経済同友会の辺見美紀副代表幹事は「観光をはじめ戦略的な産業振興が重要。百年先を見据えた空港を建設すべきだ」と指摘した。

基調講演した歌手のアルベルト城間氏は「滑走路増設で便数が増えれば、南米などとの交流機会も増えるのでは」と期待。コーディネートした政策研究大学院大学の森地茂教授は「空港のPIは福岡と那覇が初めての適用で、結果は重要な意味を持つ。ぜひ意思決定に参加してほしい」と県民の積極的なかわりを呼びかけた。

滑走路増設で 説明会を開催

県内7カ所で

那覇空港の滑走路増設で、住民意見を吸い上げるパブリックインボルブメント(P.I.)に取り組む那覇空港構想・施設計画検討協議会(国と県で構成)は、十四日から説明会をスタートさせた。今月末までに県内七カ所で予定している。同協議会事務局では、自

治会など団体の要望に応じた個別の説明会も実施するという。今後の説明会は以下の通り。

十五日午後二時、沖縄市民会館中ホール▽二十日午前十時、県庁▽同午後二時、糸満市農村環境改善センター▽二十一日午後二時、豊見城市立中央公民館中ホール▽二十九日午後二時、浦添市産業振興センター・結の街大研修室▽三十日午後二時、名護市労働福祉センター

那覇空港 騒音対策・機能最大化訴え



1310人以上沖合に新滑走路を建設することの重要性を語った香取嘉信氏＝豊見城市役所

【豊見城】那覇空港の新滑走路増設計画についての理解を深めようと二日、英ら島沖縄大使で空港問題に詳しい不動産運用管理会社専務の香取嘉信氏の講演会が市役所で開かれた。香取氏は騒音の発生線対策として、新滑走路を現滑走路から千三百十メートル以上離して建設する必要性を強調。その上で「市を中心に空港周辺の住民や自治体の要望をまとめ関係機関に訴えていくべきだ」として豊見城、那覇、糸満の空港近隣三市による対策協議会の設置を提案した。

また、住民意見を集約するため国などが実施しているパブリックインボルブメント(P.I.)が、まもなく終了することを挙げ、「住民の関心は国を動かす力になる。一人でも多くP.I.に参加し、市民としての意見を表明してほしい」と呼び掛けた。全日空の国際貨物基地が稼働した場合、アジア各国からの貨物専用機が深夜零時から午前一時に那覇空港に到着し、貨物を積み替えて午前三、四時に離陸するようになることを説明。



騒音対策の重要性について説明した講演に真剣に耳を傾ける参加者ら

「新滑走路1310メートル沖に」

美ら島大使 香取さん講演 近隣市で協議会を

豊見城

『完全離島県』だ。せめて那覇空港の機能最大化が国の責任だ」と強調した。

講演会には市商工会や各区長ら約八十人が参加。県の航空機騒音測定で県内最多の一日百八十三回の騒音を記録している市与根の大城援自治会長は「自治会全体で、もっと関心を持って空港問題を考えていきたい」と話した。

沖合展開で騒音抑制

那覇空港拡張 香取氏が講演

豊見城



香取嘉信氏

【豊見城】豊見城市民の視点で那覇空港拡張

「豊見城市民から見た那覇空港第一滑走路のあり方」が二日、豊見城市役所で行われた。美ら島沖縄大使の香取嘉信氏が講演した。

那覇空港構想・施設計画検討協議会では現在、新滑走路について、沖合千三百十メートル案と八百五十メートル案に絞っている。それに伴って各市町村では県民の意見を集約する

PI（パブリック・インボルブメント）が六日まで行われている。香取氏は、同計画実現により、アジア諸国との人や物流が増えるメリットを説明する一方、地元

住民に騒音被害が広がってはならないとして「沖合になればなるほど、発する騒音や周辺住宅街で、騒音被害は抑えられる」と述べた。

さらに、過去の空港建設で住民の意見で飛行制限が行われた例を挙げながら「PIの受付期間中に、できるだけ多くの人が意見を主張してほしい」と呼び掛けた。

同計画について、県や経済界、近隣市町村は騒音や将来の物流への影響を考慮、千三百十メートル案を支持している。

4. 【参考2】その他構想段階を紹介する新聞報道

日付	新聞紙名		見出し
平成20年 2月1日（金）	琉球新報	朝刊2面	政府構想に着手 協議会設置、位置決定へ
	沖縄タイムス	朝刊1面	案絞り込み着手へ 08年度から国、検討協を設置
8月8日（金）	琉球新報	朝刊2面	新滑走路10月までに一案 P I 実施し位置確定
	沖縄タイムス	朝刊2面	年度内にも案絞り込み 国・県が協議会発足
8月20日（水）	沖縄建設新聞	2面	「100年後を見据えた視点で検討を」 那覇空港の将来像で会合
9月23日（火）	琉球新報	朝刊3面	新滑走路長さ2700メートル 連絡誘導路は1本に
	沖縄タイムス	朝刊2面	滑走路間隔3案検証 P I に複数案提示へ
9月30日（火）	琉球新報	朝刊5面	促進連が運動本格化 ステッカー作成、配付
10月1日（水）	沖縄建設新聞	2面	滑走路2700メートル、環境配慮の修正案を提案
			1,310メートル沖合案を支持 豊見城市・金城豊明市長が声明
10月4日（土）	沖縄タイムス	朝刊2面	有識者P I 評価委設置 那覇空港滑走路増設案で
10月5日（日）	琉球新報	朝刊2面	那覇空港滑走路P I 手法を協議 評価委が初会合
10月25日（土）	琉球新報	朝刊2面	1310メートル、930メートルの2案に 滑走路位置で意見公募
	沖縄タイムス	朝刊2面	210メートル間隔案を除外 検討委「地元が反対」
10月27日（月）	沖縄タイムス	朝刊13面	騒音軽減には最も沖合で 金城豊明市長に聞く
11月10日（月）	港湾空港 タイムス	1面	最沖配置案が有力に 建設費、環境優れる

政府 構想に着手

那霸空港走路增設

協議会設置、位置決定へ

風、内閣府、国土交通省でつくる「那覇空港調倉連絡調整会議」は二十一日、那覇市の沖縄ホールバービューホテルクラフツプラザで最終会合を開いた。那覇空港の在り方として「将来の需要に対応できない恐れがあり、滑走路増設を含めた対応策が必要」との最終報告書をまとめ、会議を解散した。会議後の記者会見で内閣府沖縄総合事務局の古水清人研究建設部長は「今後は速やかに構想段階に移行したい」と述べ、二〇〇八年度から滑走路増設に向けた具体的な検討に入ることを表明した。

調整会議は○三年から
那覇空港の将来の在り方
を検討してきた。空港利
用者や県民意見を聴取す
る「パブリック・インボ
ルブメント（P-I）スイ

「ステップ3」の結果が昨年十一月にまとまったため、「ステップ3では将来方向に肯定的な意見が多数」と指摘。その上で、最終会合で報告書を出す

報告書では「那覇空港は二〇一〇—一五年ごろには夏季を中心に現存のままで対応できなくなることになった」。

(64・1%)で、滑走路増設の必要性におおむね理解が得られた」と結論付けた。

吉永開発建設部長は記

※空港能力が最大
※地上走行距離は長い
※コストは平均よりやや高い
※航長島への影響はない

※空港能力が最大
※地上走行距離が短い
※コストは3案の中で最廉
※瀬長島への影響はない

- *空港能力は最小
- *地上走行距離がやや短い
- *コストは最小
- *航長鳥が飛行経路に影響する

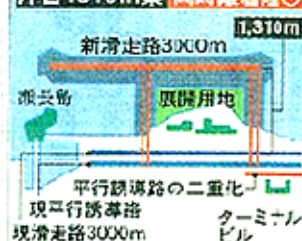
那覇空港調査連絡調整会議



滑走路増設に向けた構想段階に入ることとを表明する沖縄総合事務所の吉永潤人開発建設部長（中央）を31日午後2時すぎ、那覇市の計綱ハ、パピュホテルクラブで

滑走路増設の3案

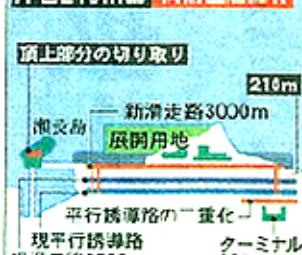
沖合1310m姿 図説 離着20



沖合930mまで 同時離着陸○



沖合210m案 同時離着陸X



者会見で「これまでのPIIでの県民の思いを早く受け止める」と構想段階に入る理由を説明。速やかに国と県から成る那覇空港構想協議会討協議会を新たに設置したい。PIIも今秋に実施し、その結果を見ながら滑走路の位置の決め方だ。

重を決めたい」と述べた。滑走路をめぐっては、現在の滑走路より海側に①千三百十メートル、②千三百十メートル、③千三百十メートルの間隔で新設に掘り立てられており、協議会でこの中から一案に

那覇空港・新滑走路

案絞り込み着手へ

08年度から国、検討協を設置

那覇空港の新滑走路の増設に向け、二〇〇八年から具体的な新設案の絞り込み作業がスタートする。空港整備主体の国

(内閣府沖縄総合事務局に意見を聴取するPFI局、国土交通省大阪航空局、国土交通省大阪航空局は、県も参加する那覇空港構想段階検討協議会(仮称)を新たに設置し、滑走路案の絞り込みに着手。今年秋をめど

那覇空港の将来の在り方を検討する那覇空港調査連絡調整会議(構成：国土交通省、内閣府、県)の第八回会合が三十一日、那覇市内で開かれ、調査を終了し、滑走路増設の構想・施設計画の検

討を進めていくことを了承した。同連絡調整会議では、〇三年度から那覇空港の将来の方策を検討する総合調査を三段階で実施。これまでの調査では、一〇一五年度ごろには「夏季の需要増加に対応できない恐れがあり、県経済に影響を与える」と予測。昨年実施した最終段階の調査ステップ3で、最大規模の三千メートルの滑走路を、現在の滑走路から沖合に「三百メートル」「九百メートル」「千三百メートル」に離す三増設案を提示した。

会合後、記者会見した沖縄総合事務局の吉永清人開発建設部長は「那覇空港の能力が近々逼迫する状況について、県民の意見は空港能力を増やすことが必要という意見が多く、具体的な方策を示す段階にきた」と説明。滑走路増設の絞り込みを技術的な面から検討する「那覇空港技術検討委員会(仮称)」を設置するこ

とも明らかにした。



那覇空港検討協

新滑走路10月までに一案

PI実施し位置確定

那覇空港の滑走路増設方法を三案から一案に絞り込む那覇空港構想・施設計画検討協議会が七日付で発足し、同日、ロワジールホテル那覇で初会合を開いた。沖縄総合事務局長と国土交通省大阪航空局長、副知事で構成。十月ごろまでに一案に絞り込み、今秋からPI（パブリック・インボルブメント＝住民意見の聴取）を四カ月程度実施、年度内にも新滑走路の位置が確定する。初会合では専門家十二人で構成する那覇空港技術検討委員会を早期に設置し、滑走路位置を技術的・実務的に検討する方針を確認した。

那覇空港の拡張は、航空需要への対応策を幅広く検討するこれまでの「総合調査」の段階から、滑走路増設の方法を検討する「構想」段階に入った。来年度にはターミナル位置などを決める「施設計画」の段階に入り、その後、事業採択されれば設計に着手する。

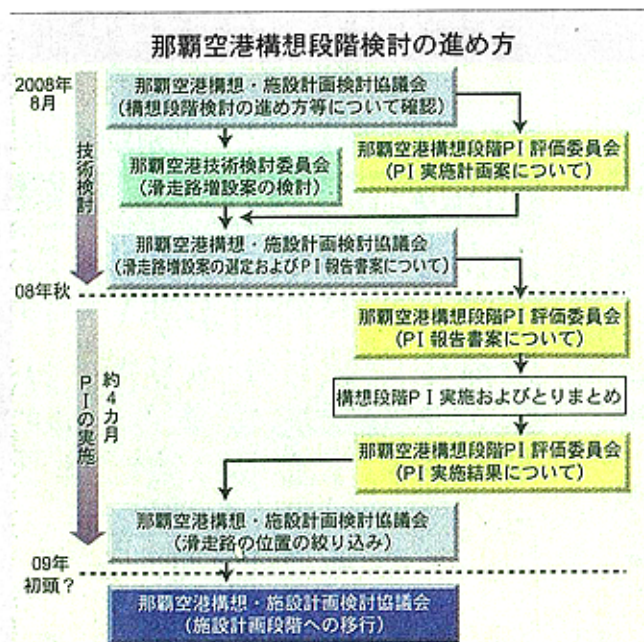
那覇空港滑走路増設の技術検討委の設置を決めた検討協議会初会合は、ロワジールホテル那覇

増設の三案の位置は、現在の滑走路より海側にそれぞれ①千三百十呎②九百三十呎③二百十呎。

会合で仲里全輝副知事は「那覇空港は沖縄の命運を左右する。（拡張の）チャンスはそうない。五十年、百年の長期的視点で判断すべきだ。日本の一部としてでなく近隣国とのつながりも考慮すべきだ」と強調。二本の滑走路で同時離着陸が可能な千三百十呎案を採用するよう暗に求めた。

これに対し片平和夫大阪航空局長は「立派な空港にしたい思いは同じ」としつつ、「概算事業費や工期もより精度の高い調査で選択し、悔いを残さぬようにしたい」と述べ、工費なども検討材料とする考えを示した。

会合ではPIの手法を検討し結果が妥当か判断する那覇空港構想段階PI評価委員会の設置も決めた。



那覇空港の第二滑走路の
在り方を検討する那覇空港
新滑走路

年度内にも案絞り込み

那覇空港
新滑走路 国・県が協議会発足

構想・施設計画検討協議会が七日発足し、那覇市内のホテルで第一回会合を開いた。今秋をめどに、住民や空港利用者などに意見を聞くPI（パブリック・インボルブメント）に着手。並行して、専門家の判断を反映するための技術検討委員会を設置するなど、今後の協議の枠組みを確認した。PIは四カ月程度で結果をまとめ、早ければ本年度内にも滑走路の位置や規模を絞り込む。

協議会には内閣府沖縄総合事務局長、国土交通省大阪航空局長、副知事で構成。これまで部長クラスによる調査連絡会議で三段階のPIを実施したが、今年一月にステップ3が終了し、滑走路増設が「構想段階」に移行したことを踏まえ、メンバーを格上げして絞り込みを本格化することになった。PI実施に伴い、専門家五人で構成するPI評価委員会も設置する。

技術検討委員は環境や航空運航などの専門家十二人が務め、これまでに挙げられた三案（二本の滑走路の間隔が千三百十メートル、九百三十メートル、千三百十メートル）の修正作業なども担う。どの案を採用するかは最終的に協議会で確認し、施設計画段階に移行する。

仲里全輝副知事は「（国は）長期的視点で考えてほしい」と、千三百十メートル以上沖合への滑走路建設を求める姿勢を示唆した。瀬長島への影響を避けることも求めた。

これに対し、国土交通省大阪航空局の片平和夫局長は「那覇空港が沖縄県にいかん大事な社会資本であるか、痛切に感じている」と答える一方、「エアライン（航空会社）にも使いやすい便利な空港でなければならぬ」と指摘。直接的な言及は避けながらも、千三百十メートル案では航空機が離陸するまでの地上走行距離が長くなることを念頭に、慎重姿勢を示した。

「100年後を見据えた視点で検討を」



那覇市内で行われた那覇空港構想・施設計画検討協議会

那覇空港の将来像で会合

構想・施設計画検討協議会

那覇空港の具体的な構想
段階の検討を進める第1回
那覇空港構想・施設計画
検討協議会が7日、那覇市
のロジャールホテルにおい
て開催された。

これまで、内閣府沖縄
合事務局、国土交通省大
阪航空局、沖縄県3者は、
那覇空港調査連絡調整会
議を、平成15、19年度
にかけてパブリックイン
ボルメント（P1）による

「那覇空港の総合的な調査」
を実施した。その結果、2
010、2015年度頃
は夏季を中心に現在の施設
では増加する需要に対応で
きない恐れがあるとして、

県経済に与える影響が大き
いと予想された。結果を踏
まえて、平成20年1月、
那覇空港調査連絡調整会
議は、那覇空港について今
後具体的な将来対応の方策
の検討を進めることと望み

いた。この結論を示した。これ
らを踏まえて内閣府沖縄
合事務局、国土交通省大
阪航空局は、「構想段階」の
検討を実施することを決定
した。

7日に示された那覇空港
構想段階検討の進め方（案）
では、那覇空港構想・施設
計画検討協議会、那覇空港
技術検討委員会、那覇空港
構想段階P1評価委員会の
3つの組織を軸に検討が進
められていくことになる。

また、那覇空港構想段階
P1評価委員会は委員され
た委員によって構成され、
次の事項の評価及び助言を
行う。①P1実施計画に関

する事項。
②P1実施期間
中のP1活動に関すること
③P1実施計画に関するこ
と。（各組織と検討の進め
方のフローについては図1
を参照）

議事は各委員会設置要綱
案、検討の進め方案、P1
実施計画案等を承認した。
仲里副知事は検討にあつ
てとして次の3点の要望を
行った。①航空に依存せ
るを得ない沖縄にとって
将来を左右する重要な基盤

に関することがあり、
将来予測に十分対応でき
るように検討してほしい。
②（各組織と検討の進め
方のフローについては図1
を参照）

整頓というの千載一遇の
チャンスとして捉えており、
20、30年後のスパーンで
は、100年後を見据え
て、長期的な視点で検討
してほしい。沖縄の命運
を左右する基盤である。ま
た、近隣諸外国との関係を

展望した視野を見据えて欲
しい。③那覇長島は文化的価値
の高い場所でもあり、那
覇長島を含め観光商工地域に
指定しており、滑走路増設
についてはその点を配慮し
た議論をお願いしたい。

最後に、沖縄総合事務局
の福井局長は「那覇空港滑
走路増設については沖縄の
経済の自律的発展にとって
きわめて重要な基盤となる
最も重要なプロジェクトと
認識しております。関係者

が一体となってコンセンサ
スをとって取り組めるよ
うなプロジェクトに今後と
もしていきたい。タイミン
グが微妙でありますし、本
プロジェクトは緊急性が高
いというところで構想段階
の結論が早期に熟達するよう
に、さらに次の段階へ具体
化されるように全力で取り
組んでいきたい」と述べた。

第2回那覇空港構想・施設
計画検討協議会は10月
頃の開催予定。

第2回那覇空港構想・施設
計画検討協議会は10月
頃の開催予定。

那覇空港構想・施設計画
検討協議会、内閣府沖縄
合事務局長、国土交通省大
阪航空局長、沖縄県副知事
で構成され、①那覇空港の
将来対応の方策、②那覇空港
の具体的な施設計画、③前
①②の検討に係る情報提供、
意見収集の実施等を検討す
る。那覇空港技術検討委員
会は学識経験者、有識者で
構成され、那覇空港の構想
段階における技術・専門的
な次の事項について指導・
助言を行う。①技術・専門
的検討に用いる解析手法、
②技術・専門的検討を行う
べき内容や検討過程および
検討結果の妥当性、③その
他技術的・専門的技術に係

港委
空検
霸技
那覇

新滑走路長さ2700メートル 連絡誘導路は1本に

那覇空港の二本目の滑走路の位置や規模を検討する那覇空港技術検討委員会の初会合が二十二日、那覇市の水産会館で開かれた。前提条件として滑走路の長さを二千七百メートル、ターミナル地域への連絡誘導路は一本とすることを確認した。

前年までの総合的調査の段階では、滑走路とは別に空港関連施設を整備するための「展開用地」として五十畝を確保する想定だったが、埋め立てによる環境影響を低減する観点から、今後の計画では展開用地の造成は見送る。

委員は大学教授や経済界関係者など有識者十二人で構成。委員長に屋井鉄雄・東京工業大学大学院教授を選出した。

沖繩総合事務局は航空需要予測を新たに精査し、那覇空港への一日平均発着回数には現在の三百六十二回から、二〇三〇年度には四百二十八回まで増える設定した。

那覇空港拡張

技術検討委

P1に複数案提示へ

滑走路間隔3案検証

那覇空港の滑走路増設の構想について、専門的な立場から助言を行う那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄・東京工業大学大学院教授）の初会合が二十二日、那覇市内で開かれた。従来の詳細なデータを踏まえ、調査段階で三千メートルとしていた滑走路の長さを二千七百メートルに縮小することなどを前提条件に、滑走路増設の三案（現滑走路との距離が二百メートル、九百三十メートル、千三百十メートル）を比較・検証する方針を確認した。

公共事業の透明性確保を重視する国土交通省のガイドラインに基づき、住民に意見を聞くP1（パブリックインボルブメント）対比できるように一案件に絞り込み、次回会合で複数案を候補として示したいという。

国交省大阪航空局の試算では、就航（予定）機材が離着陸に必要な滑走路の長さは最大二千七百メートル。一日あたり発着回数は、滑走路二本をそれぞれ離着陸専用で使用した場合、千三百十メートルと九百三十メートルの両案が五百九回で、二〇三〇年時点の需要予測（四百二十八回）をクリア。二百十メートル（四百十五回）は滑走路間隔が短く制限を受け、需要に対応できないとされた。

那覇空港滑走路 1310メートル以上沖合に

促進連が運動本格化

那覇空港の滑走路増設について、自治体や県経済界などでつくる那覇空港拡張整備促進連盟は、現滑走路から千三百十メートル以上沖合側に二本目を新設する案を訴え、本格的運動を始めた。ステッカーを一枚作成し、企業などへの周知を図っている。同連盟の知念栄治会長（県経営者協会会長）は「現滑走路と同時離着陸できる滑走路を建設することで、将来の航空需要拡大に備えることができる。実現に向け、たうねりをつくりたい」と話している。

ステッカー作成、配布

ステッカーは九月初めに作成。県経営者協会や沖縄経済同友会などの例会などを通して、県内企業を中心に配布している。中央部に「那覇第2滑走路沖合展開

1310（いいさーい ちおし）m以上」と大きな文字でPR。「同時に離着陸できる間隔です！」「音も確実に静かになります」と記している。

那覇空港の滑走路増設をめぐっては、滑走路の位置や規模を検討する専門家による技術検討委員会が九月に発足し、複数案の具体的な評価の手續きに入った。建設位置は①千三百十メートル②九百二十メートル③二百十メートルの三案を基本に検討されている。

県は発着回数を大幅に拡大するため、二本の滑走路を独立運用できる「オーブンパレル」が可能な千三百十メートル以上沖合への建設を主張しており、拡張整備促進連盟も県を後押しし、九

月初めに国土交通省への要請行動を展開した。今秋には増設案の住民意見の聴取が予定されている。国側は、建設費抑制の観点から千三百十メートル以上案に慎重姿勢を崩していない。知念会長は「五十年、百年後を見据え、アジアの玄関口としての拡張性と物流拠点としての拡張性が高い沖合千三百メートル以上案を実現したい。県民全体の運動に発展させたい」と話している。広報活動強化の一環として、同連盟はステッカー増刷も検討している。



那覇空港拡張整備促進連盟が配布しているステッカー





那覇空港の増設滑走路について、1,310メートル沖合案支持を表明した金城豊明市長

那覇空港拡張整備

1,310メートル沖合案を支持

豊見城市・金城豊明市長が声明

那覇空港の拡張整備に伴う増設滑走路について豊見城市の金城豊明市長は9月19日、同市役所で記者会見を開き、滑走路建設計画の

3案のうち、1,310メートル沖合に整備する案を強く支持する声明を県内自治体で初めて発表した。豊見城市議会は6月定例会で、

310メートル沖合に整備する案の採択を求める決議を可決している。また、仲井眞弘多知事も6月に町村信孝官房長官らに同案を要望しており、県としては追い風となった。

一方、那覇空港の滑走路増設については沖縄総合事務局長、国土交通省大阪航空局長、副知事で構成する「那覇空港構想・施設検討協議会」が、10月頃を目処に計画3案（現滑走路との距離を①1,310メートル、②930メートル、③210メートル）から一本へ絞り込むとしている。

豊見城市は、210メートル案は瀬長島への影響が最も大きいとして明確に反対と表明。金城市長は同案は同市の理由として、瀬長島周辺の那覇市、糸満市と連携し、国や県に要請して行きたい方針だ。

「那覇空港構想・施設検討協議会」の下に設置された「那覇空港技術検討委員会」の第一回の会合が9月22日に沖縄水産会館で開催された。同協議会では「那覇空港の整備というのは千載一遇のチャンスとして捉えており、20～30年後のスパーンではなく、100年後を見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい。沖縄の命運を左右する基盤である。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて欲しい」と建設費抑制に対して牽制した。

オープンパレル化の国際基準を満たさないとして反対を表明した。豊見城市は周辺の那覇市、糸満市と連携し、国や県に要請して行きたい方針だ。

「那覇空港構想・施設検討協議会」の下に設置された「那覇空港技術検討委員会」の第一回の会合が9月22日に沖縄水産会館で開催された。同協議会では「那覇空港の整備というのは千載一遇のチャンスとして捉えており、20～30年後のスパーンではなく、100年後を見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい。沖縄の命運を左右する基盤である。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて欲しい」と建設費抑制に対して牽制した。

「那覇空港構想・施設検討協議会」の下に設置された「那覇空港技術検討委員会」の第一回の会合が9月22日に沖縄水産会館で開催された。同協議会では「那覇空港の整備というのは千載一遇のチャンスとして捉えており、20～30年後のスパーンではなく、100年後を見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい。沖縄の命運を左右する基盤である。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて欲しい」と建設費抑制に対して牽制した。

有識者PI評価委設置

那覇空港滑走路増設案で

計画検討協

那覇空港の滑走路増設案の絞り込みについて県民意見などを募るパブリック・インボルブメント（PI）の実施に向け、那覇空港構想・施設計画検討協議会（国、県で構成）は三日、外部有識者による構想段階PI評価委員会を設置した。

PIを求めるために①増設滑走路の位置や空港用地の範囲の埋め立て面積や事業費の規模②費用対効果③周辺環境への見通し④などの情報を提供することを確認。十一月以降に約四カ月かけてPIを実施し、同委員会が評価する。同委員会は学識経験者ら五人で構成。互選で上間清琉球大学名誉教授を委員長に選んだ。

同飛行場の滑走路増設案は既存滑走路との間隔が二百十メートル、九百三十メートル、千三百

百十メートルの三案あり、那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄東京工業大学大学院教授）で比較・検証が行われている。

屋井委員長は十月中に開く次回会合でも一案には絞り込まない考えを示している。事業規模などが近いことから、九百三十メートル、千三百メートルの両案がPIにかけられる可能性が高いとみられる。

那覇空港滑走路PI手法を協議

評価委が初会合

那覇空港構想段階PI評価委員会の第一回会合が三日、沖縄総合事務局で開かれ、委員長に上間清氏（琉球大学名誉教授）が選任された。

PI（パブリック・インボルブメント）住民意見の聴取）の手法などについて協議した。

同委員会は、那覇空港構想・施設計画検討協議会が、近く予定している新滑走路の位置に関するPIの段取りや結果を評価するために設置された。

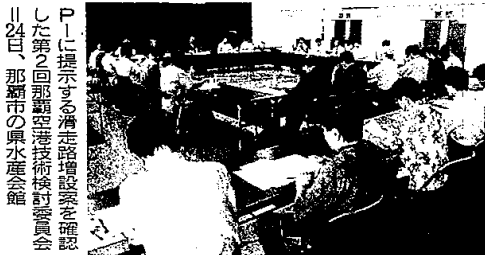
PI実施後、年度内にも評価をまとめる。

那覇空港拡張

1310メートル、930メートルの2案に

検討委 滑走路位置で意見公募

第二回那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄、東京工業大学大学院教授）が二十四日、那覇市の県水産会館で開かれた。那覇空港の二本目の滑走路の位置や規模について県民の意見を聞く構想段階PI（パブリック・インボルブメント）に提示する滑走路増設案と評価内容を決定した。



PIに提示する滑走路増設案を確認した第二回那覇空港技術検討委員会。二十四日、那覇市の県水産会館

検討対象となっていた千三百十メートル、九百三十メートル、二百十メートルの増設三案のうち、瀬長島の削除を伴う二百十メートル案については地元への反発が強いことから、検討から外すことを確認。千三百十メートル以上と九百三十メートル以下の二案でPIを実施する方向性で一致した。

今後、国と県で構成する那覇空港構想・施設計画検討協議会で委員会の検討結果が報告され、PIに提示する内容が最終確定する。同協議会は四カ月程度のPI実施期間を経て、本年度中にも増設案を一案に絞り込む予定だ。

増設案の比較では、千三百十メートル、九百三十メートルの両案とも一日発着回数が五百九回まで向上し、将来需要に対応が可能となる。これに対し二百十メートル案は発着回数が四百十五回にとどまり将来需要に対応できない上、二案に比べて経済波及効果が百四十億円の損失になると試算されていた。

那覇空港増設滑走路

210メートル間隔案を除外

検討委「地元が反対」

那覇空港の新たな滑走路の在り方について話し合う那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄、東京工業大学大学院教授）が二十四日、那覇市の水産会館で開かれた。滑走路との間隔を三百十メートル、九百三十メートル、千三百十メートルとする三案のうち、パブリック・インボルブメント（PI、住民意見を吸い上げる仕組み）の対象から、二百十メートル案を除外すべきとの認識で一致した。

930・1310メートルでPI実施へ

また、九百三十メートル、千三百十メートル案を基本に、空港能力や利便性などを評価項目とするPI実施の方向性も確認。同技術検討委員会の地形変更を伴うため、地元から受容できないとされる那覇空港・施設計画検討協議会で正式決定される

あり、技術検討に値しない」と説明。PI対象を一案に絞り込まなかったことには「そもそも選定が任務ではない」とし、「複数案を提示し、住民が比較できることが望ましい」と述べた。

那覇空港の滑走路増設1310案

金城豊明市長に聞く

【豊見城】那覇空港の滑走路増設について那覇空港技術検討委員会は二十四日、現滑走路から沖合に展開する三案から二百十ノ案を除外した。今後、残りの九百三十ノ、千三百十ノの二案を比較検討するほか、住民の意見を聞き、本年度中に増設案を一案に絞り込む見通しだ。滑走路増設について、航空機騒音の懸念や瀬長島への影響を理由に、千三百十ノ案を支持している金城豊明市長に、空港拡張を求める要望などを聞いた。

（聞き手＝南部総局・仲本利之）

「騒音被害は、

「県が行った那覇空港周辺の航空機騒音測定で、市与根のうるさき指数が十年連続で環境基準を越えるなど、航空機騒音がわが市の住民生活に大きな影響を与えている」とはあまり知られていない。

「那覇空港では今後、F15戦闘機の配備や全空の国際貨物基地構想もあり、新たな

騒音軽減には最も沖合で

騒音の不安もある。滑走路整備では騒音の発生源対策を図りつつ、最も沖合の千三百十ノ案で滑走路を建設し、周辺地域の騒音軽減に努めてほしい。

「那覇、豊見城、糸満の空路の南端と瀬長島との距離は、港周辺三市の意見を聞く『地域連絡会議』では、九百三十ノ案について、滑走路の位置関係は修正案について、騒音を五百五十ノ南側に移動した音や飛行機の進入経路など、修正案が提示され、正直驚き、瀬長島にどんな影響を与えている。この案では滑走

「那覇、豊見城、糸満の空路の南端と瀬長島との距離は、港周辺三市の意見を聞く『地域連絡会議』では、九百三十ノ案について、滑走路の位置関係は修正案について、騒音を五百五十ノ南側に移動した音や飛行機の進入経路など、修正案が提示され、正直驚き、瀬長島にどんな影響を与えている。この案では滑走



航空機騒音や瀬長島開発に対する懸念を示し、1310案の重要性を語る金城豊明市長
＝豊見城市役所

空港機能高め観光振興を

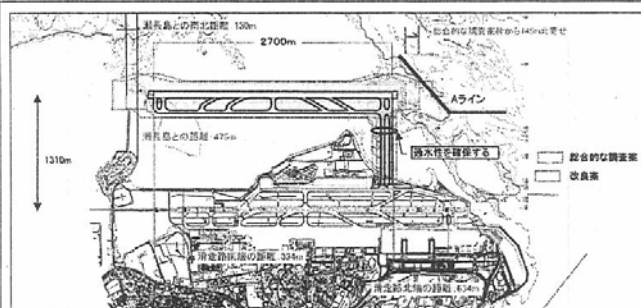
「整備が整っていない」として県建築指導課の許可が下りていない。しかし、県から観光振興地域に指定された瀬長島で観光振興につながる施設を開発するのに、同じ県が「待つた」をかけるのは整合性が合わないのではないか。県全体の観光の発展に寄与する瀬長島開発の早期実現に協力をお願いしたい。

「空港拡張について県への要望は、

「仲井真県政が目指す掲げる『観光客一千万人』を達成するため、同時着陸、同時離陸ができるオープンパレルの運用が可能な千三百十ノ案で建設を推進し、空港機能を最大限に高めることが必要だ。わが市と同じように千三百十ノ案を要望している経済界などと連携を図りつつ、沖縄全体の発展につながる空港拡張を求めている」と。

(1) 第1131号 2008年(平成20年)11月10日(毎週月曜日発行)

ス ム タイ 港 空 湾 港



那霸空港沖展

最沖配置案が有力に

第2回 建設費、環境優れる 技検委

[illegible]

3)家の設備・環境は比較的行
 った。手紙に入るには現
 那朗平清正の沖合開港は規
 滑道路に平行する第1号滑
 滑道路を増設すること。昨
 年度まで、総合的計画に
 わるステップ1-3のP1
 手紙による、地帯や利用
 手続を完成させる。地帯や
 用者の声を取り取り組みを運
 総合調査、P1ステップ3
 では滑正増設の位置によ
 る建設費や周辺環境の影
 響、利便性との視点から、
 3)家の設備・環境は比較的行

填め込みの現象。また、
 コストなどの視点から、
 南北滑正道路を移動動
 るなして、実質可能な形
 修正して比較検討を行行
 いる。
 それによって、昨年度
 で示されてる、沖合開港
 3)のうち、一番開港に
 1200間開港は標準
 業費は1200億円と概算
 で済むが滑正に近接し
 できる。能動的な方向
 リットが生み、近代的向
 の船客需要に対応でき

建設面での比較では1310万坪は上期1年、埋立面積500万坪、構想事業面積1900万坪、930万坪の10倍、構想事業1400万坪、埋立面積1400万坪、埋立率100%で、いずれも1310万坪で、間接効果も有るになっている。

沖合への間隔距離が長く埋立面積の大きい13130万坪が利便と景観とでは、930万坪の景観には、250万坪の深い海域が

津波津浪の激しい沖域に比べ、浪は激しいのに静穏な海風となるが、瀬長島と増設港との間が、800万坪と開いており、連絡誘導路に通水性を確保することで、海水交換が促進される、また海水交換が速に残存する漁場は漁主を維持管理してくれる、他、広がることも考えられ、他案に比、那覇空港生熊系プログラムのいくつかは可能程度維持していくことが、この調査結果をもって

和で必ず、庶民環境変化に伴う大膽な南側の砂質粘土生廃赤への影響が懸念される」としている。

これらの比較により、建面・環境面で現状では110土留案が最有力で、P手続を経て広範な意見をいた上で、大きな問題がなければ今後は110土留案を基本に具体案をまとめていく方向になるとみられる。

今年度実施する構想段階

【3案の総合評価】

段階から構想・施設計画に踏み込み、詳細な比較検討を行った上で来年からの実施段階への取組強化へと進めることになっていく。

また今年度の比較では昨年度までの総合的調査で示した基本案をベースに環境や自然環境、また経済活動と効果はマイナス評価になり、更に工期も一重長かかるとはさらさら実際のな補案はさらさら、間隔距離13.1kmと39.0kmに較べられる。

そして両者の比較では

[illegible]

は空海施設の基本計画や

【3案の総合評価】

第2回同調査推進検討委員会に示された3案の総合評価。

▽13101号案「交通機能」
力が大きく、将来需要に十分対応でき、かつ概算が両方が最も安い。また1本の専用道路が開通した場合も運用が可能である。なお、長期的な近況にも柔軟に対応可能である。

▽13102号案「清き路開闢が大きいこと」
地上走行距離環境への影響については、埋立面積が最も大きく、沖合のサンゴ礁生態系への影響は接岸影響及び潮溜等の範囲が大きい。したがって、サンゴ礁生態系への影響については、13101号案よりも実地のある方策を導入すべきである。影響低減の可能性がある。

▽13103号案「相模の小さい、砂浜干満幅小しい」
橋梁の直接的影響は最も小さい。閉鎖的領域域について過湿性の確保により雨水水たまりが促進され、大規模な海況急激への改修を生じやすい。

▽93301号案「13101号案」

に、影響が大きい。将来問題にも対応できよう。

一方、清足船の一部が水際の浅い所に留置されたため、操業事業は最も高価で埋土量が多い。

環境への影響は埋立面積が、サンゴ礁とはほぼ同様に、1:10の割合で同様の影響及び干潮帯等の変化は島の影をとなし、また漁獲量の影響をとなし。

一方、岸寄りに配置するときは大規模な改築及び規模の小さい砂浜に汚生棲系への直接的影響が生ずる。

⑦ZIOO事業：概要事業費は最も低く、かつ地上走行距離は最も短い。一方、歩行能力は小さいため、歩行需要に対応できない可能性がある。経済的および環境への悪化が懸念される。また、本港路が閉鎖され、漁食、気象条件によつては陸地とつながる可能性は低い。

水域環境や水産生物への影響は最少ないが、最も岸寄りに配置するときは、長島や南崎の改築によるものと、砂浜汚生棲系への直接的影響が地味に比べて大きく、生態系へのパランの悪化が懸念。

基本設計等の作業に入るこ
とになり、22年度以降に環
境アセスメントや埋立免許
目込み。